

高取町のまちづくりに関する 住民アンケート調査

【結果報告書】

令和2年2月

奈良県 高取町

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果	3
1 回答者の属性について	4
2 回答者の転出入の状況について	7
3 満足度・愛着について	10
4 子どもについて.....	19
5 定住・移住について	22
6 仕事と私生活の調和について.....	28
7 本町の今後の施策について.....	32
8 幸福感について.....	37
III. アンケート結果(単純集計結果)	39

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和元年度に中間期を迎え、一部改訂を行う「高取町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定資料として、多くの住民の皆様のご意見を反映させるべく、町の現状に対する満足度や将来のまちづくりに対する考え方、人口増減に大きな影響を及ぼす結婚や出産、定住・移住に関する住民の意識を把握することを目的に、住民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：高取町全域
- 調査対象者：高取町在住の方
- 抽出方法：住民基本台帳より抽出。なお、各世代のサンプル数が同程度となるように、配布に当たって調整を行った。
- 調査期間：令和元年10月3日（木）～10月18日（金）
- 調査方法：郵送配布、郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
今回	1,300	557	42.8%
前回(参考)	1,000	394	39.4%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 数量回答は、数字を直接記入する形の回答です。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

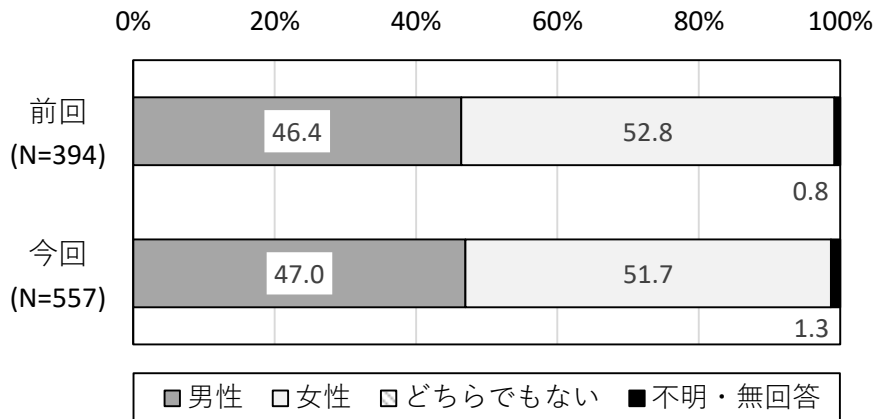
Ⅱ. 調査結果(概要)

1 回答者の属性について

(1) 性別〈単数回答〉〔問1〕

回答者の性別は、男性 262 人（47.0%）、女性が 288 人（51.7%）となっています。
 前回調査における男女比率ともほぼ同程度となっています。

■回答者の性別（前回調査との比較）

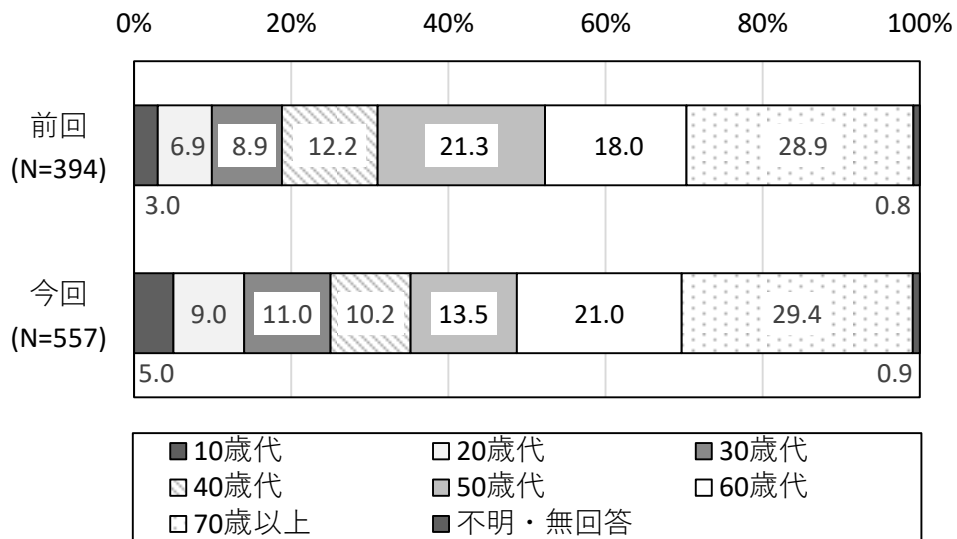


(2) 年齢〈単数回答〉〔問2〕

回答者の年齢は、70 歳以上が最も多く 29.4%となっており、次いで 60 歳代が 21.0%、50 歳代が 13.5%となっています。10 歳代は 5.0%、20 歳代は 9.0%、30 歳代が 11.0%、40 歳代が 10.2%となっています。

前回調査と比較して、50 歳代の比率が低くなっています。

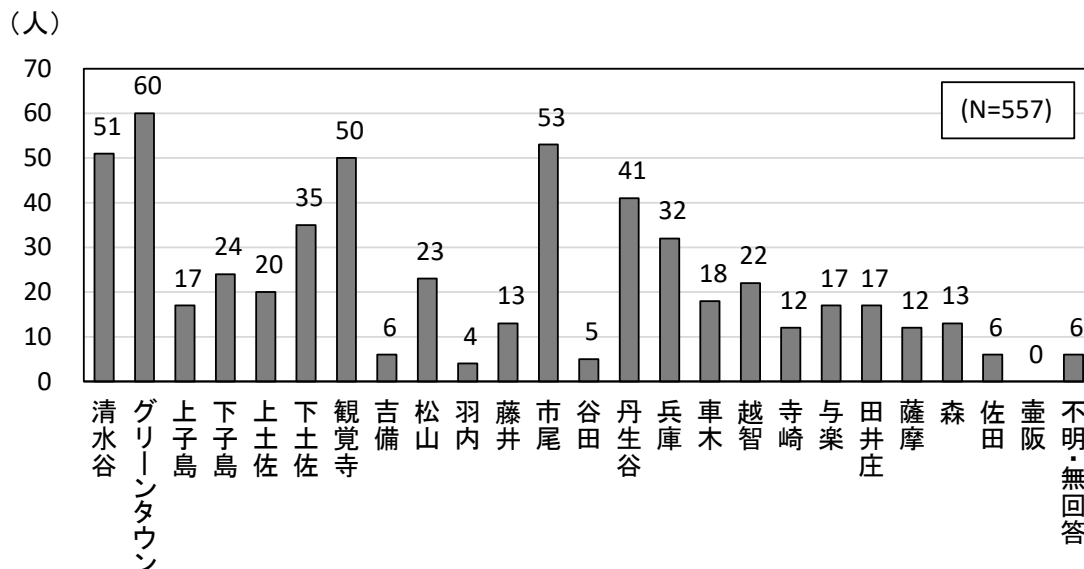
■回答者の年齢（前回調査との比較）



(3) お住まい〈単数回答〉〔問3〕

回答者の居住地域は、「グリーンタウン」が60人で最も多く、次いで「市尾」が53人、「清水谷」が51人、「観覚寺」が50人と続いています。また「壺阪」は0人となっています。

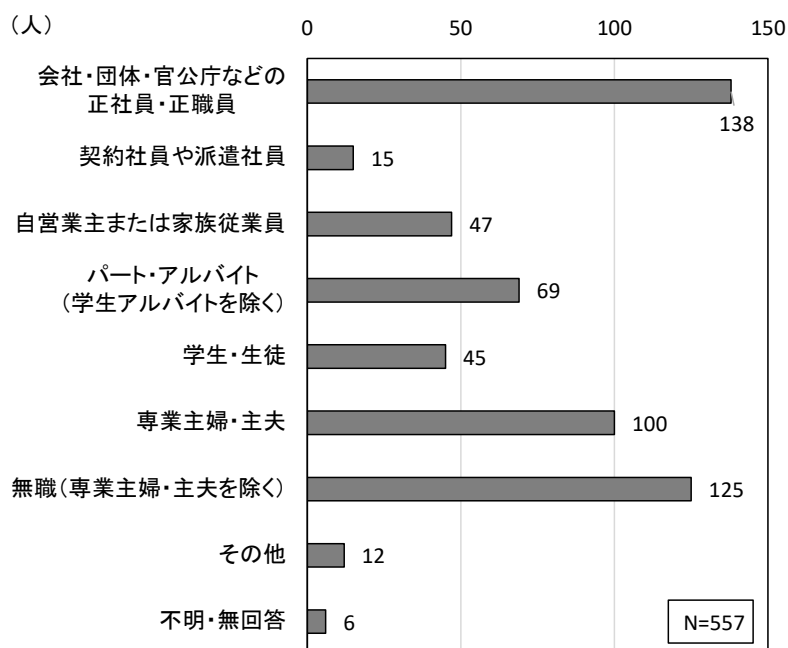
■回答者のお住まい地域（単純集計）



(4) 回答者の職業〈単数回答〉〔問8〕

回答者の職業について見ると、「会社・団体・官公庁などの正社員・正職員」が138人と最も多くなっています。次いで「無職（専業主婦・主夫を除く）」が125人、「専業主婦・主夫」が100人となっています。

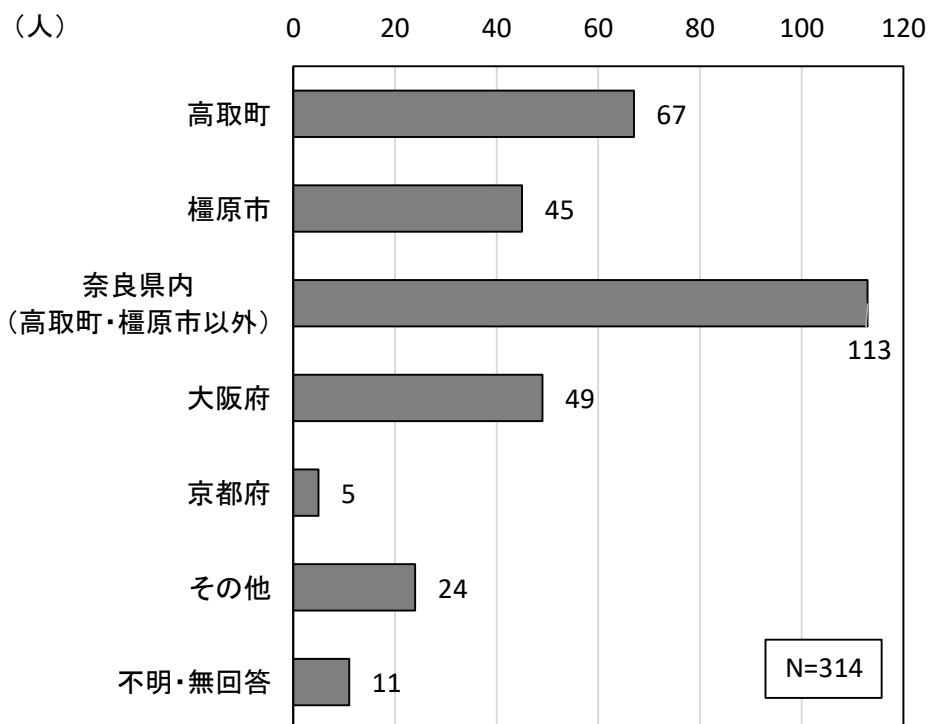
■回答者の職業（単純集計）



(5) 就業・就学先〈単数回答〉〔問9〕

就業・就学先について見ると、「奈良県内（高取町・橿原市以外）」が113人で最も多く、次いで「高取町」が67人、「大阪府」が49人、「橿原市」が45人となっています。

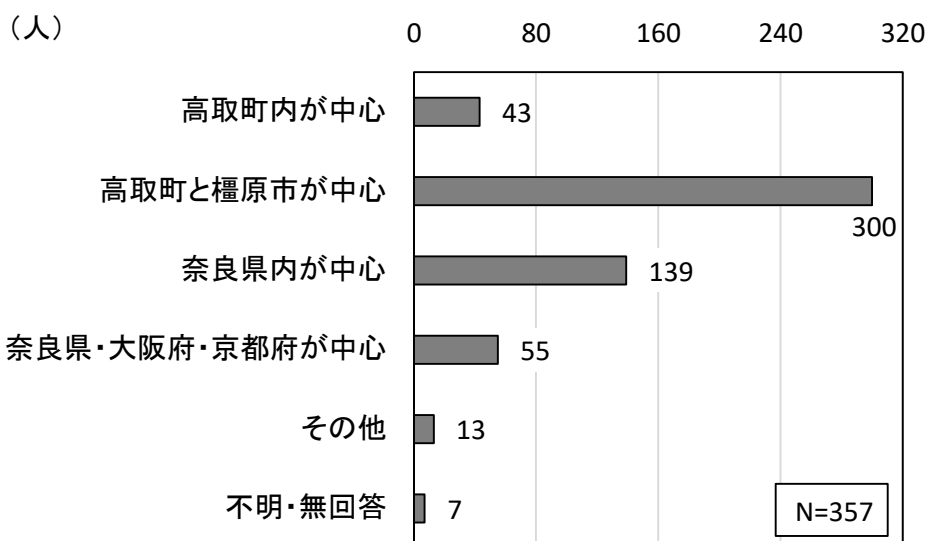
■回答者の就業・就学先（単純集計）



(6) 日常的な行動範囲〈単数回答〉〔問10〕

日常的な行動範囲（日常的な買い物、かかりつけ医等）について見ると、「高取町と橿原市が中心」が300人と最も多く、次いで「奈良県内」が139人となっています。

■回答者の日常的な行動範囲（単純集計）

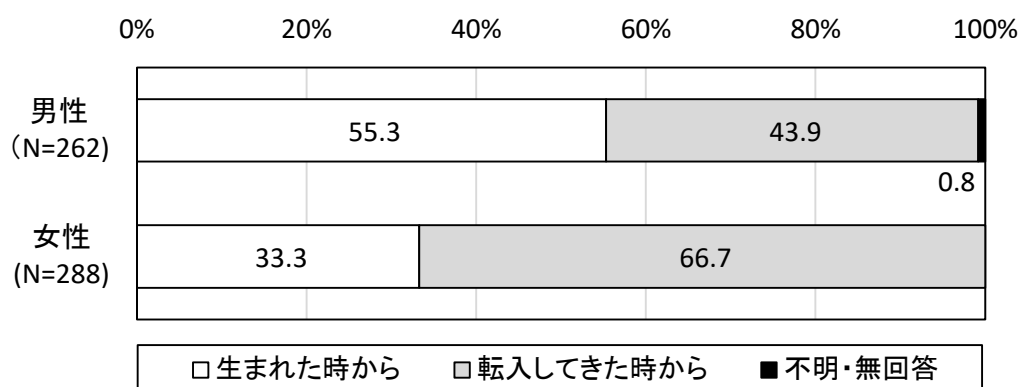


2 回答者の転出入の状況について

(1) いつから高取町に住んでいるか〈単数回答〉〔問4〕

いつから高取町に住んでいるかについては、男性は「生まれた時から」が55.3%、「転入してきた時から」が43.9%となっています。女性は「生まれた時から」が33.3%、「転入してきた時から」が66.7%となっています。

■高取町の居住時期（男女別）

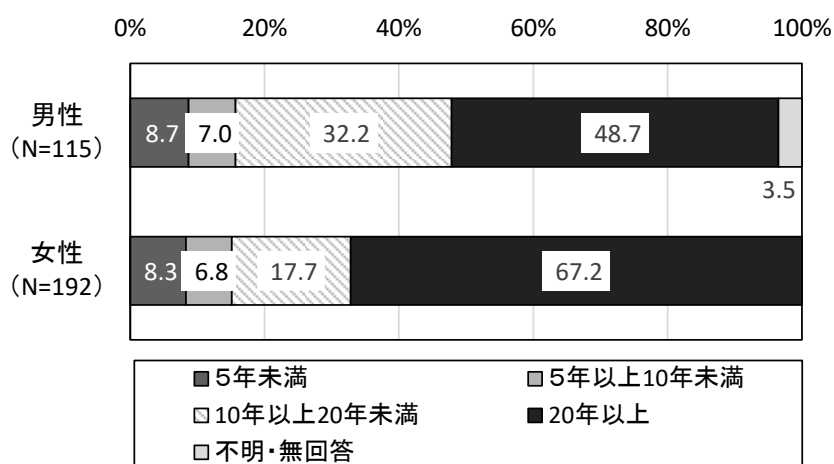


(2) 転入してから何年になるか〈単数回答〉〔問5〕

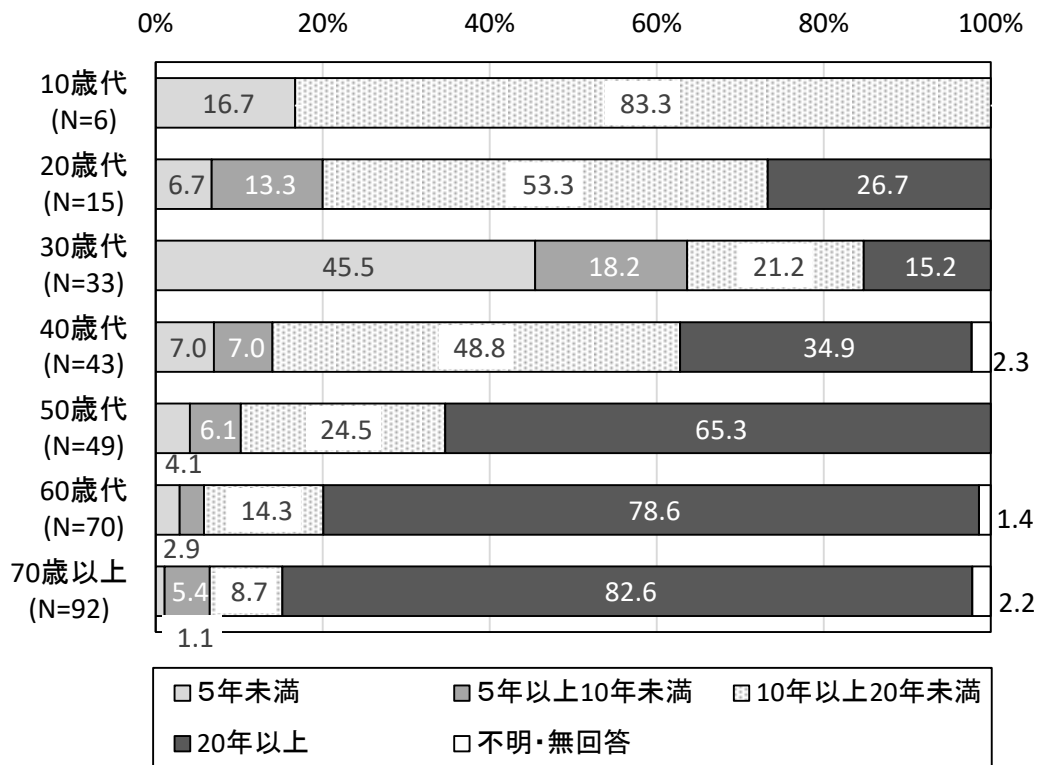
転入してからの年数については、男女ともに「20年以上」が最も多く、それぞれ48.7%、67.2%となっています。ついで「10年以上20年未満」がそれぞれ32.2%、17.7%となっています。

年代別に見ると、30歳代では「5年未満」が45.5%、「5年以上10年未満」が18.2%と多くっており、40歳代では「10年以上20年未満」が48.8%となっており、成人してから高取町に移り住んできた方がいることがわかります。

■転入してからの年数（男女別）



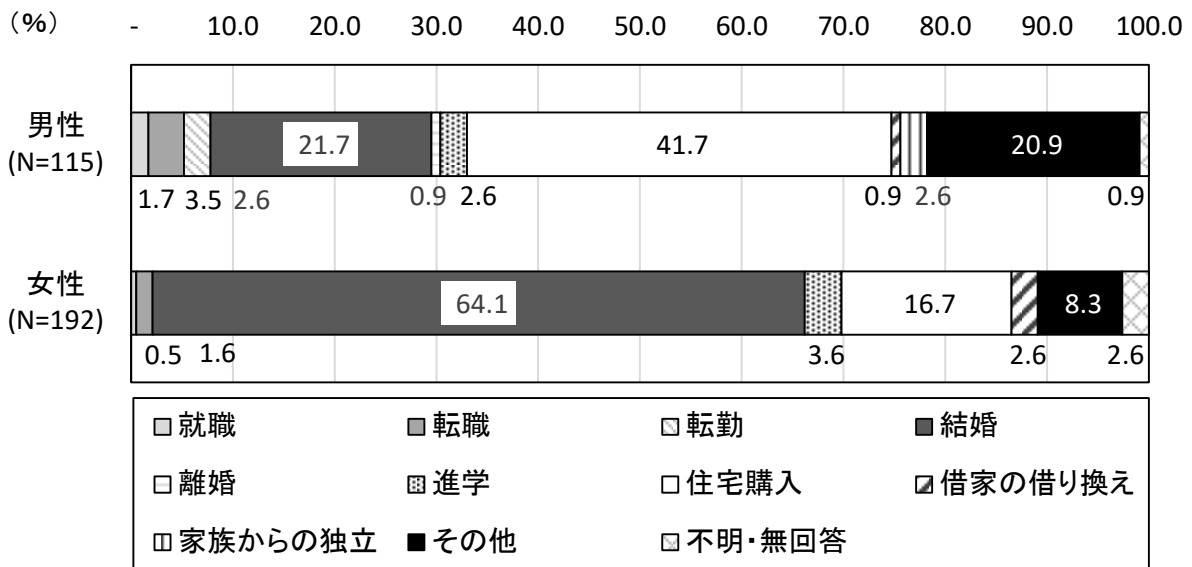
■転入してからの年数（年齢7区分別）



（3）転入することになった理由〈単数回答〉〔問6〕

転入することになった理由については、男性では「住宅購入」が41.7%で最も多く、次いで「結婚」が21.7%となっています。女性では「結婚」が64.1%で最も多く、次いで「住宅購入」が16.7%となっています。

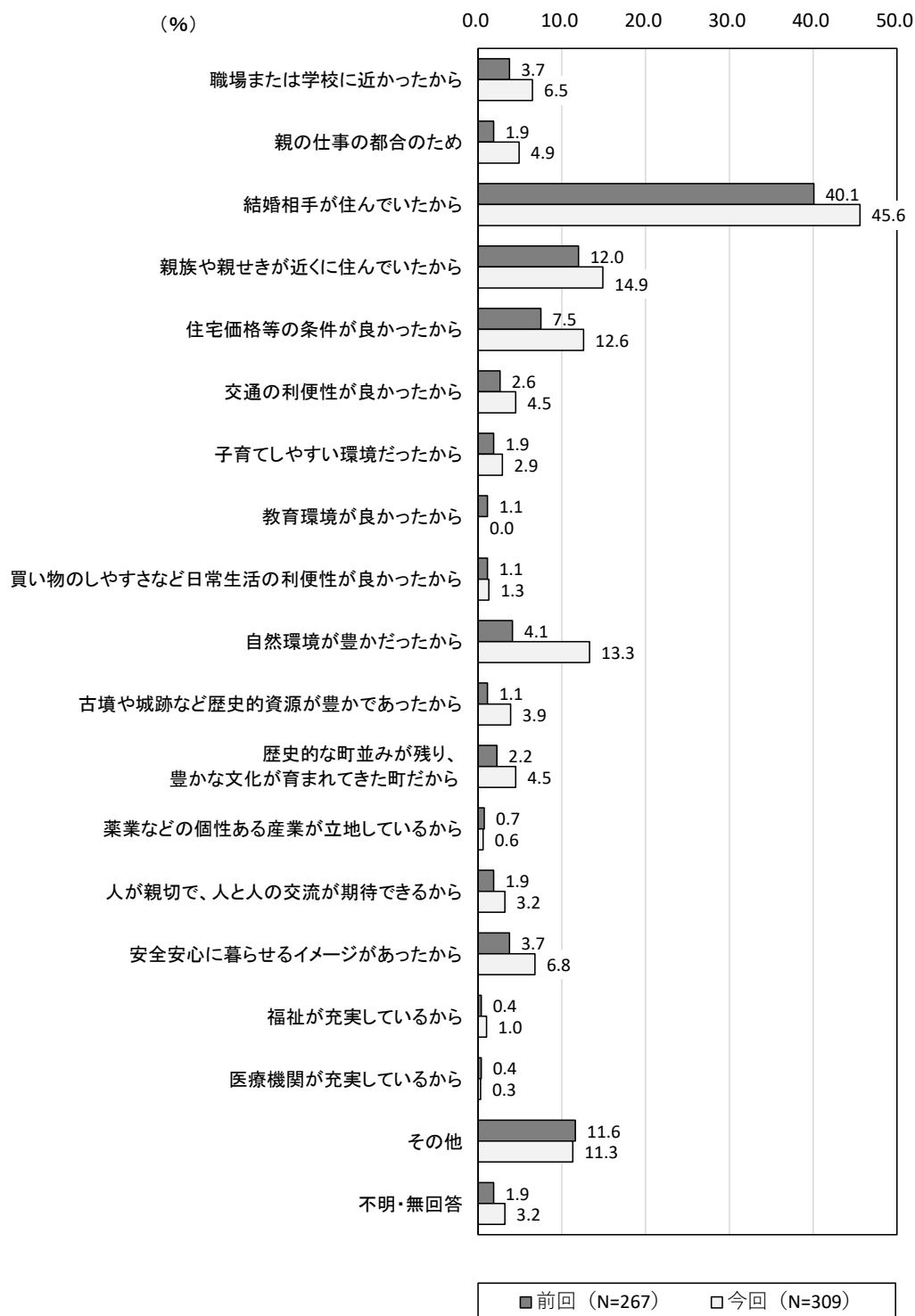
■高取町への転入理由（男女別）



(4) 転入する際に、高取町を選んだ理由〈単数回答〉〔問7〕

転入する際に、高取町を選んだ理由については、「結婚相手が住んでいたから」が45.6%で最も多く、前回調査と比較して5.5ポイント高くなっています。次いで「親族や親せきが近くに住んでいたから」が14.9%、「自然環境が豊かだったから」が13.3%、「住宅価格等の条件が良かったから」が12.6%と続いています。中でも、「自然環境が良かったから」が前回調査より9.2ポイント高くなっています。

■高取町を選んだ理由（前回調査との比較）



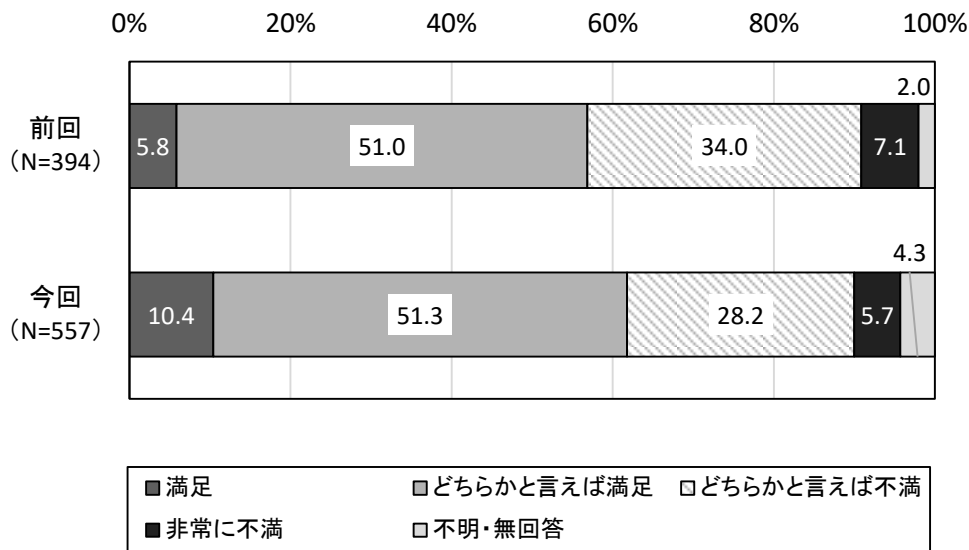
3 満足度・愛着について

(1) 高取町での暮らしの満足度〈単数回答〉〔問11〕

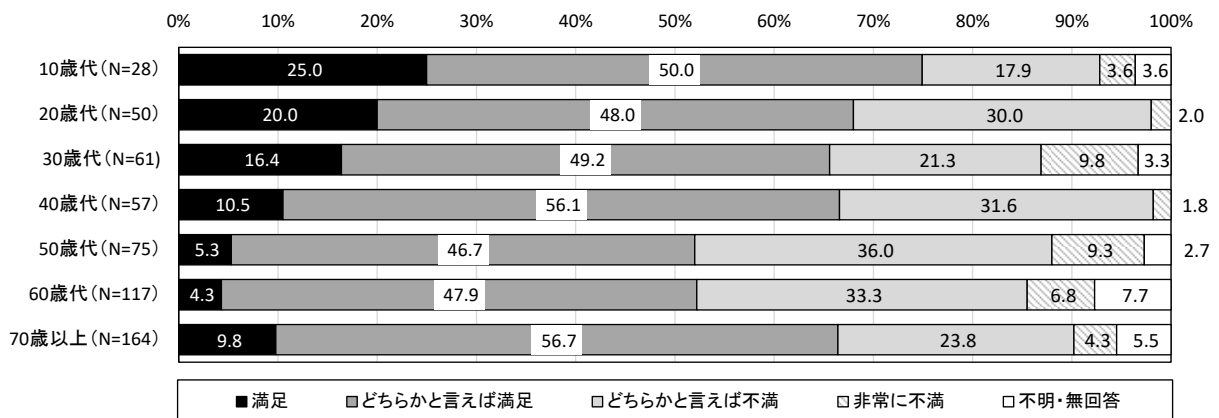
高取町での暮らしの満足度については、「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計が61.7%となっており、前回調査での56.8%よりも4.9ポイント高くなっています。

年代別で「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計を見ると、10歳代が75%、20歳代が68.0%、30歳代が65.6%、40歳代が66.6%、50歳代が52.0%、60歳代が52.2%、70歳以上が66.5%となっています。

■暮らしの満足度（前回調査との比較）



■暮らしの満足度（年齢7区分別）

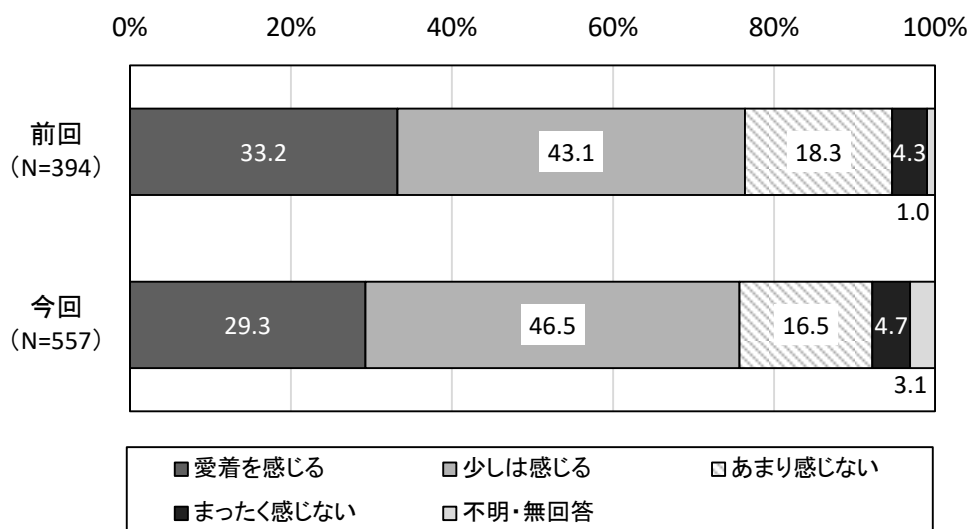


(2) 高取町に対する愛着〈単数回答〉〔問12〕

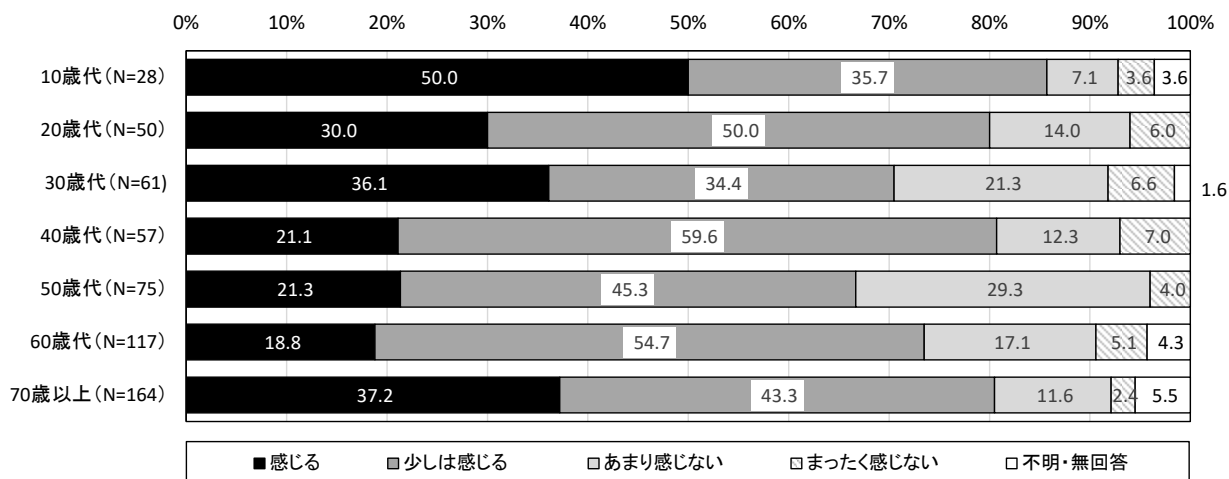
高取町に対する愛着について見ると、「愛着を感じる」と「少しは感じる」の合計は75.8%となっています。前回調査とほぼ同じ結果となっています。

年齢別で「愛着を感じる」と「少しは感じる」の合計を見ると、10歳代は85.7%、20歳代は80.0%、30歳代は70.5%、40歳代は80.7%、50歳代は66.6%、60歳代は73.5%、70歳以上は80.5%となっており、総じて高い値となっています。

■ 高取町への愛着（前回調査との比較）



■ 高取町への愛着（年齢7区分別）

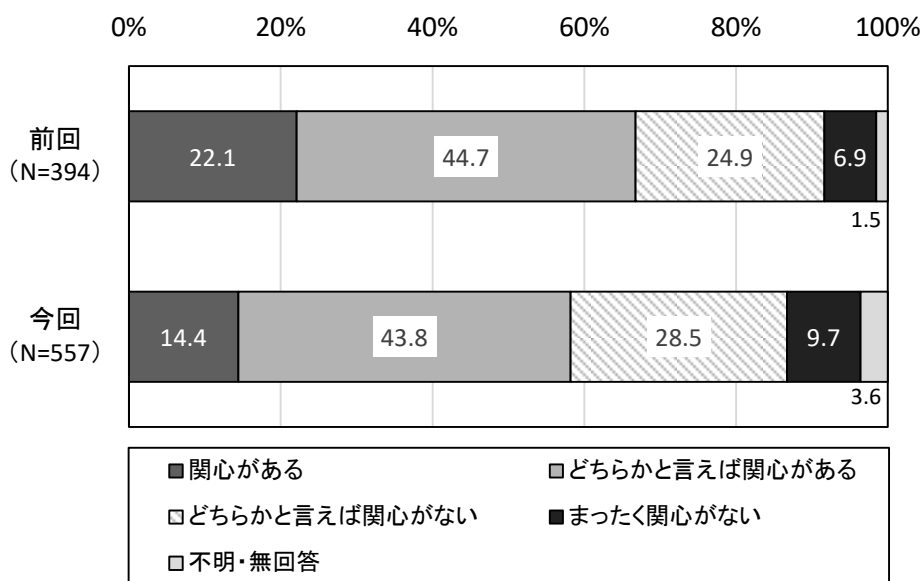


(3) 町政への関心〈単数回答〉〔問13〕

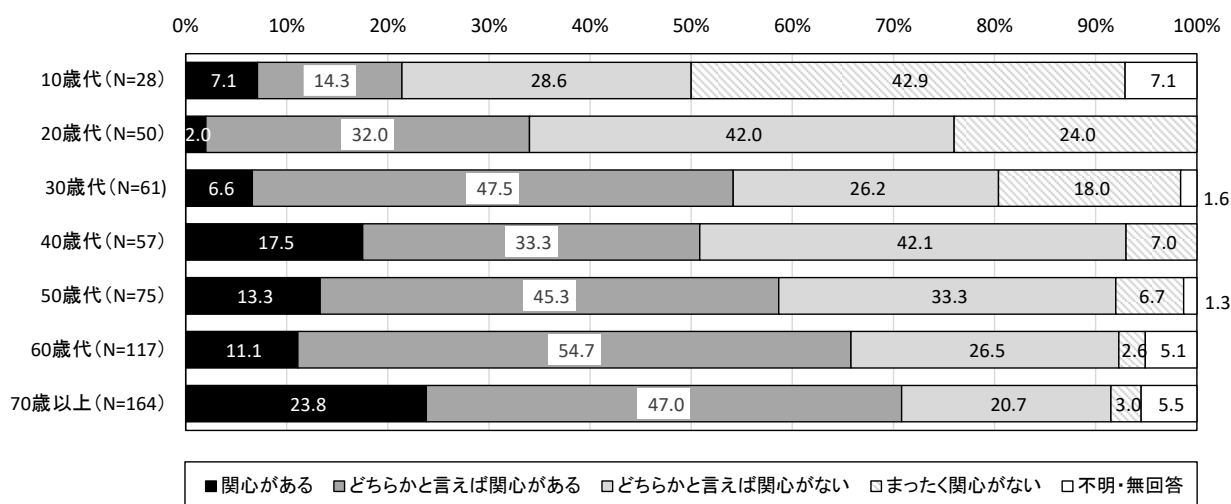
町政への関心について見ると、「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」の合計は58.2%となっています。前回調査と比較すると低くなっています。

年代別で「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」の合計を見ると、10歳代は21.4%、20歳代は34.0%、30歳代は54.1%、40歳代は50.8%、50歳代は58.6%、60歳代は65.8%、70歳以上は70.8%となっています。

■町政への関心（前回調査との比較）



■町政への関心（年齢7区分別）

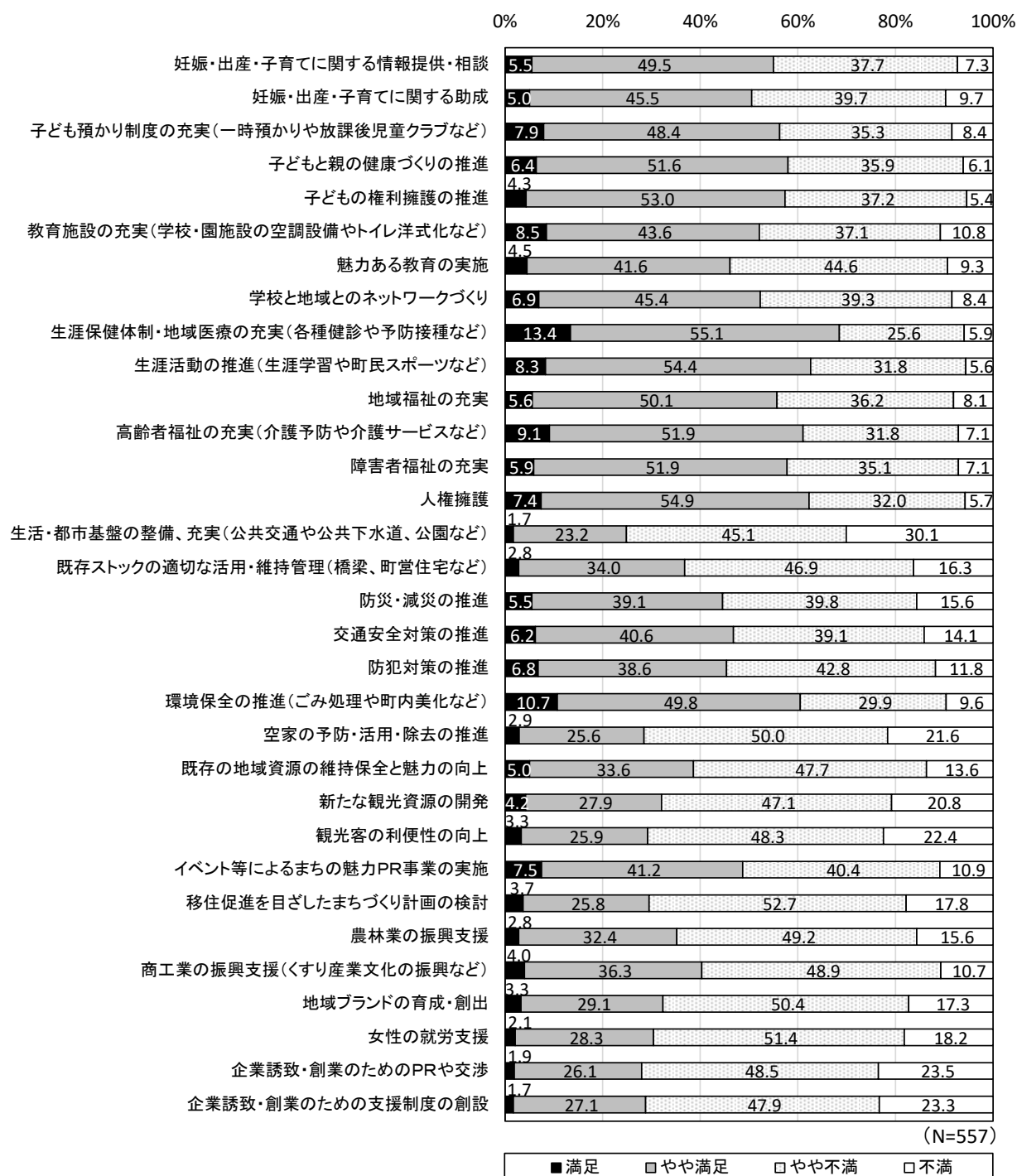


(4) 施策分野別の満足度〈単数回答〉〔問14〕

施策分野別の満足度を見ると、「生涯保健体制・地域医療の充実（各種健診や予防接種）」（68.5%）や「生涯活動の推進（生涯学習や町民スポーツ）」（62.7%）、「人権擁護」（62.3%）などは、「満足」と「やや満足」の合計が6割を超えています。

一方、「生活・都市基盤の整備、充実（公共交通や公共下水道、公園など）」（75.2%）や、「空家の予防・活用・除去の推進」（71.6%）、「観光客の利便性の向上」（70.7%）などは、「不満」と「やや不満」の合計が7割を超えています。

■ 施策分野別の満足度（単純集計）



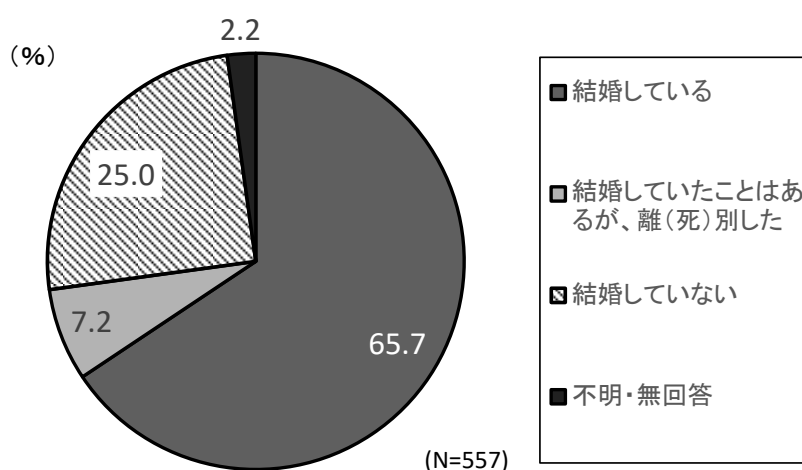
3 結婚について

(1) 結婚の状況〈単数回答〉〔問15〕

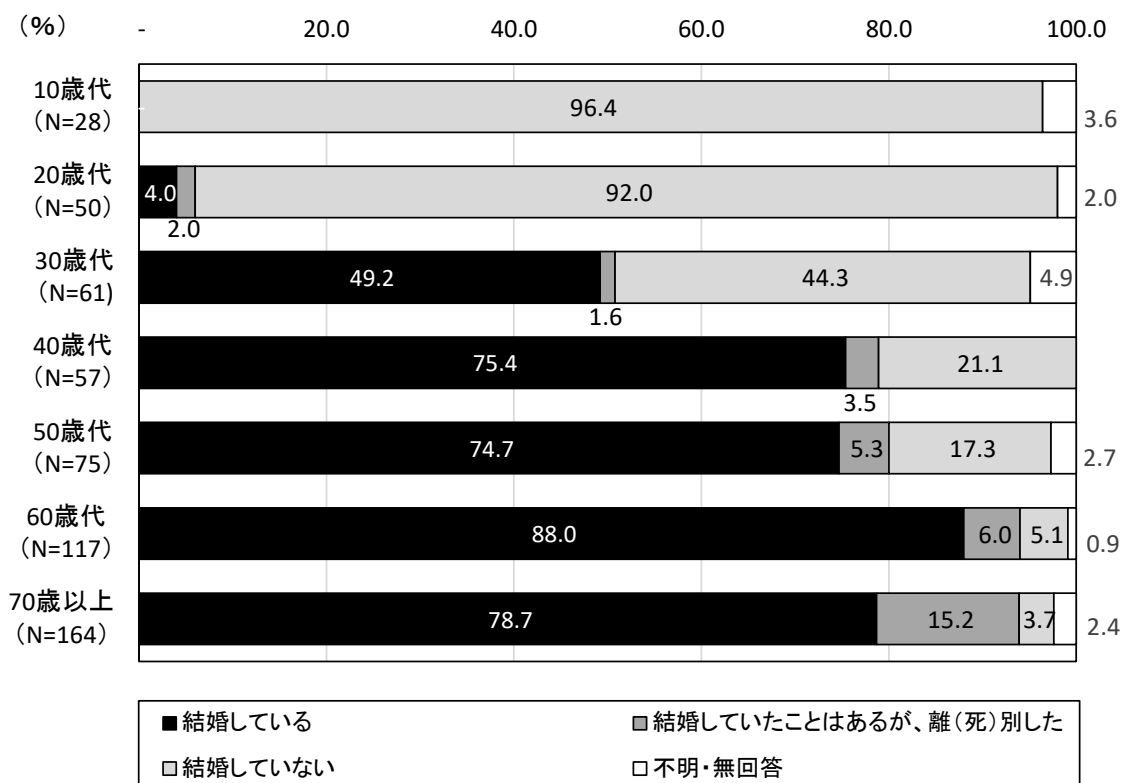
結婚の状況について見ると、「結婚している」が65.7%となっており、「結婚していない」が25.0%、「結婚していたことはあるが、離(死)別した」が7.2%となっています。

年代別で見ると、40歳代以上は「結婚している」が7割を超えています。

■結婚の状況（単純集計）



■結婚の状況（年齢7区分別）

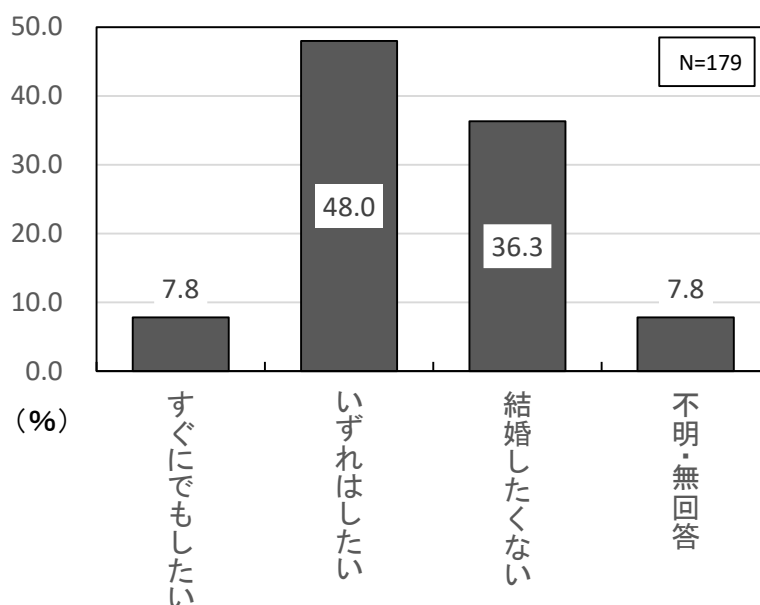


(2) 結婚の意向〈単数回答〉〔問16〕

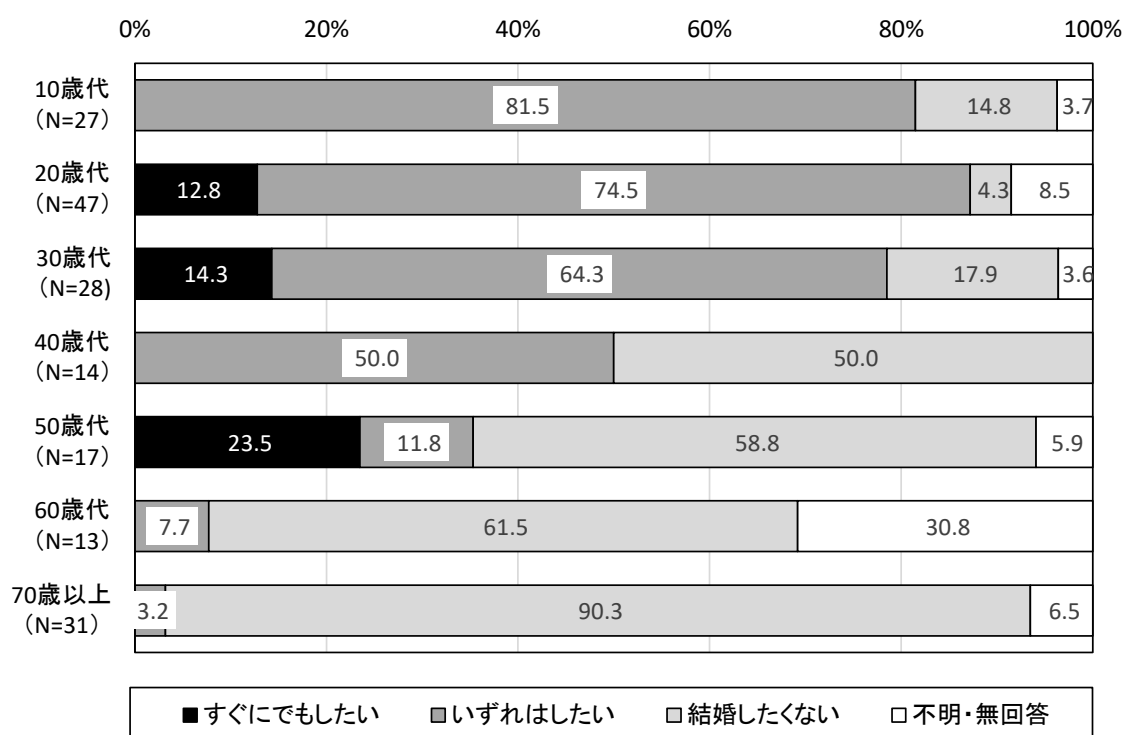
結婚していないと回答した方の、結婚の意向を見ると、「いずれはしたい」が48.0%となっており、「結婚したくない」が36.3%となっています。

年代別で「すぐにでもしたい」と「いずれはしたい」の合計を見ると、10歳代は81.5%、20歳代は87.3%、30歳代は78.6%、40歳代は50.0%となっています。

■結婚の意向（単純集計）



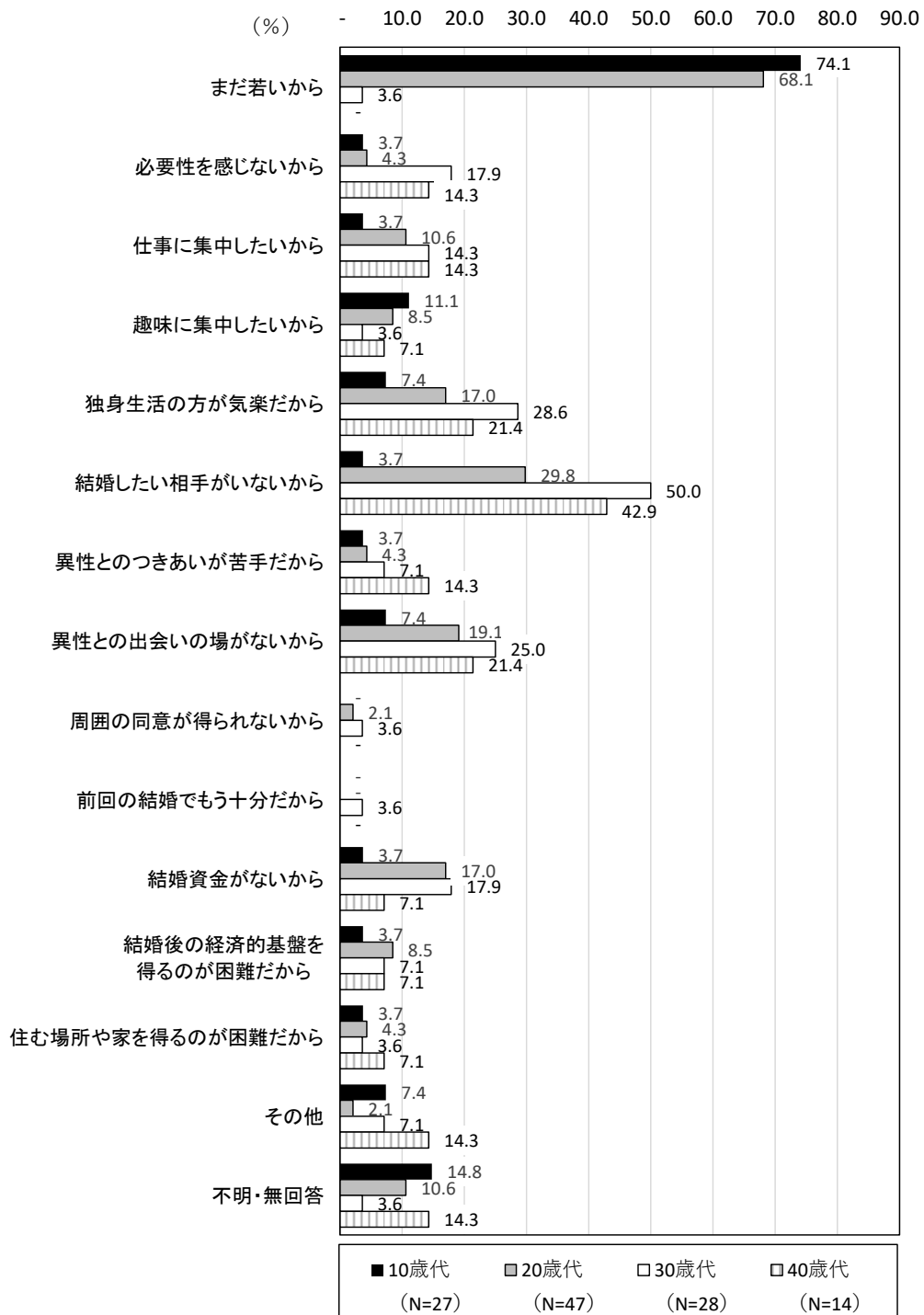
■結婚の意向（年齢7区分別）



(3) 結婚していない、結婚したくない理由〈複数回答〉〔問17〕

結婚していない、または結婚したくない理由を見ると、10歳代は「まだ若いから」(74.1%)が高くなっており、20歳代は「まだ若いから」(68.1%)に次いで「結婚したい相手がないから」(29.8%)が続いています。30歳代は「結婚したい相手がないから」(50.0%)に次いで「独身生活が気楽だから」(28.6%)が高くなっています。40歳代では「結婚したい相手がないから」(42.9%)に次いで「独身生活の方が気楽だから」(21.4%)、「異性との出会いの場がないから」(21.4%)が続いています。

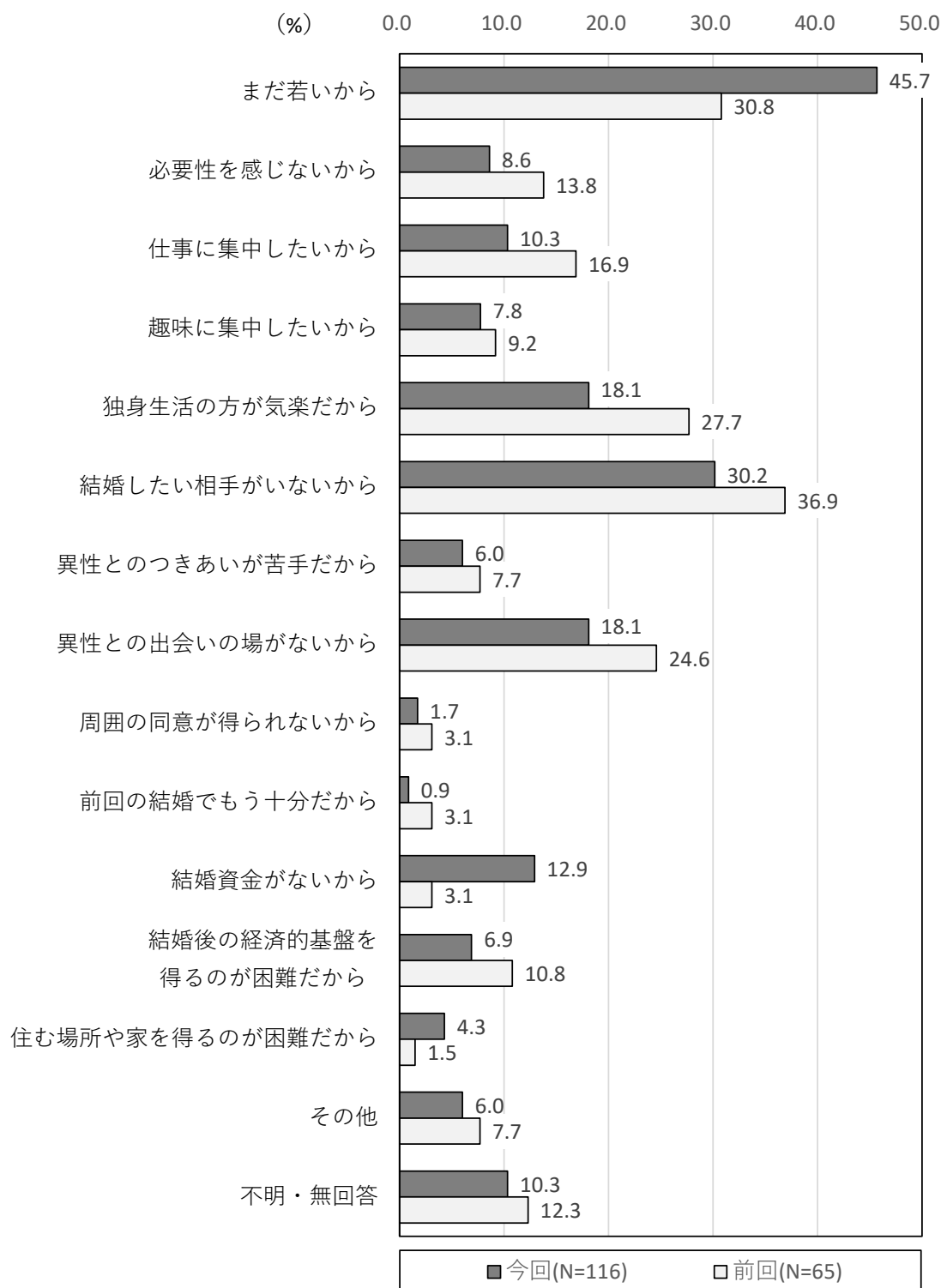
■結婚していない理由、結婚したくない理由(年齢別〈10歳代~40歳代〉)



結婚していない、または結婚したくない理由について、10歳代～40歳の合計数を前回調査と比較したところ、「まだ若いから」が前回から14.9ポイント増えています。また「結婚資金がないから」が9.8ポイント増えています。

また、前回から「結婚したい相手がいないから」は6.7ポイント、「独身生活の方が気楽だから」が9.6ポイント、「異性との出会いの場がないから」が6.5ポイント減っています。

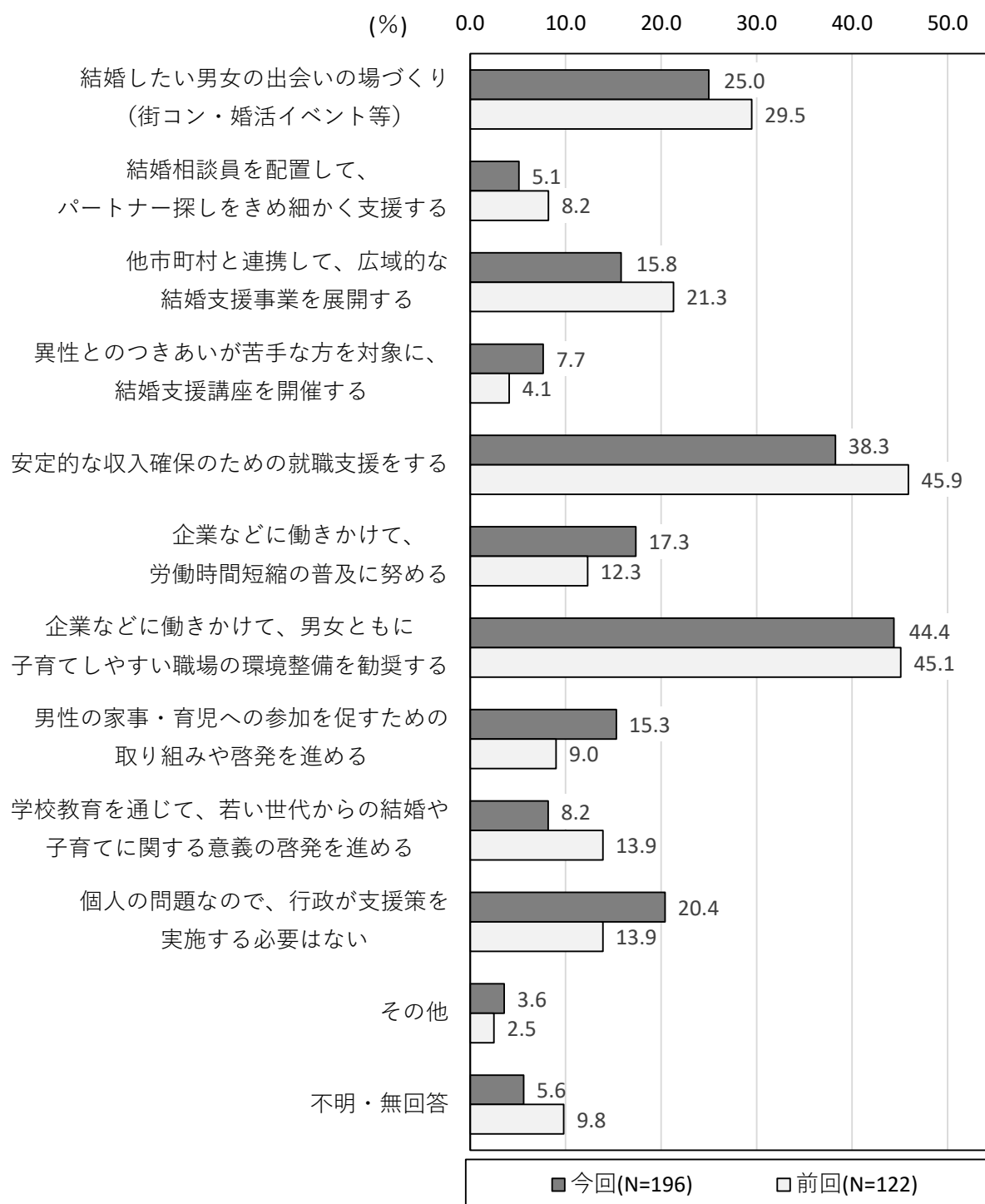
■結婚していない理由、結婚したくない理由（10歳代～40歳の合計・前回調査との比較）



(4) 結婚支援のために、行政が実施することが望ましい施策〈複数回答〉〔問18〕

結婚支援のために、行政が実施することが望ましい施策について10歳代から40歳代の集計を見ると、「企業などに働きかけて、男女ともに子育てしやすい職場の環境整備を勧奨する」が44.4%と最も高く、次いで「安定的な収入確保のための就職支援をする」が38.3%、「結婚したい男女の出会いの場づくり（街コン・婚活イベント等）」が25.0%で続きました。

■10歳代から40歳代の合計数（前回調査との比較）

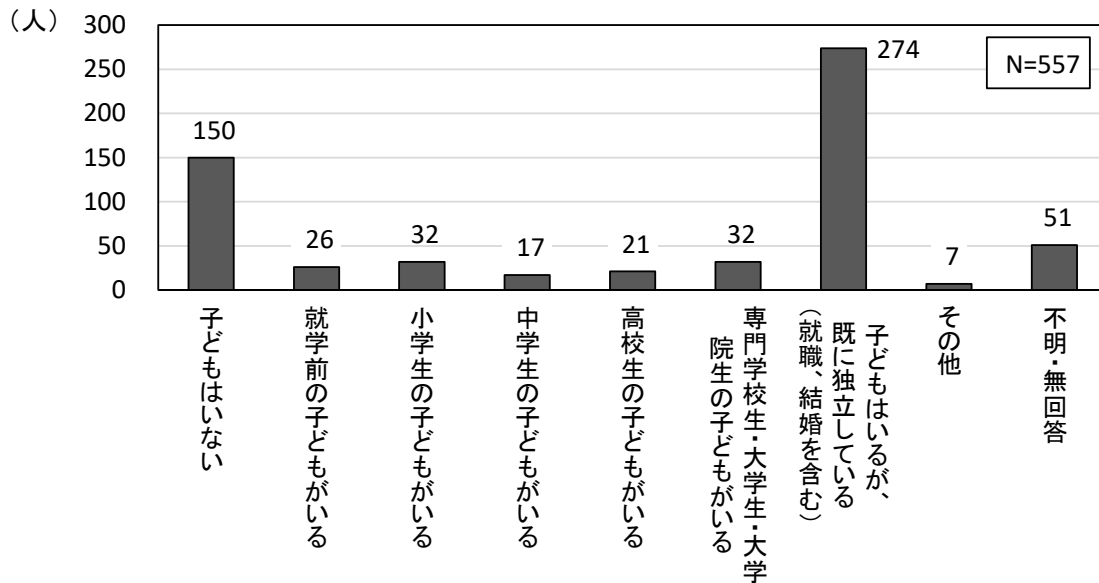


4 子どもについて

(1) 回答者の子ども〈単数回答〉〔問19〕

回答者の子どもについて見ると、「子どもはいるが、既に独立している（就職・結婚を含む）」が274人と最も多くなっています。

■回答者の子ども（単純集計）

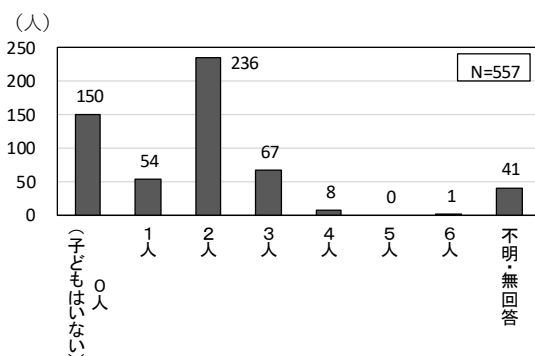


(2) 現在の子どもの数と理想の子どもの数〈単数回答〉〔問20・21〕

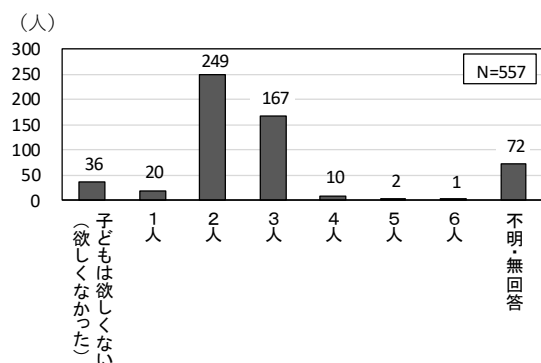
「現在の子どもの数」を見ると、「2人」が236人と最も多くなっており、次いで「0人」が150人となっています。

また、「理想の子どもの数」を見ると、「2人」が249人と最も多くなっており、次いで「3人」が167人となっています。

■現在の子どもの数（単純集計）



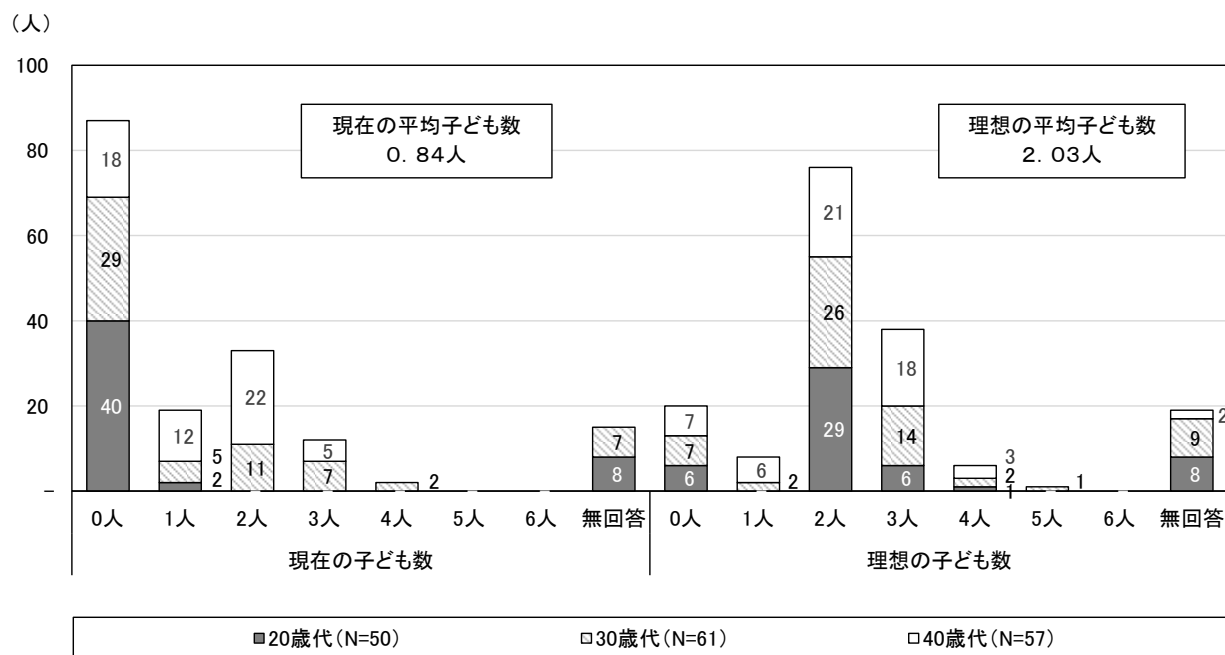
■理想の子どもの数（単純集計）



20歳代から40歳代の「現在の子ども数」と「理想の子ども数」について見ると、現在の子ども数では「0人」が87人と最も多く、次いで「2人」が33人となっています。理想の子ども数は「2人」が76人と最も多く、次いで「3人」が38人で続いています。

20歳代から40歳代の「現在の平均子ども数」は0.84人となっており、「理想の平均子ども数」は2.03人となっている。

■ 「現在の子ども数」と「理想の子ども数」(20歳代～40歳代)

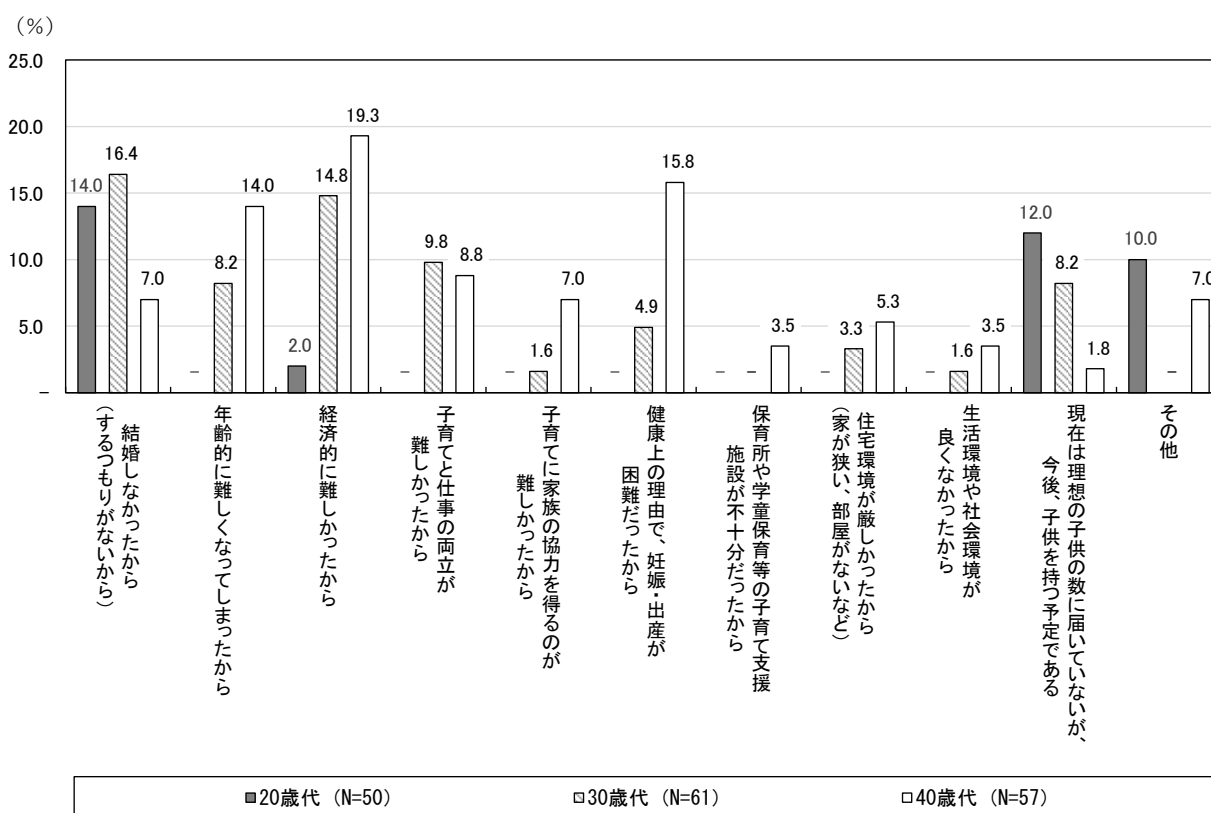


(3) [理想の子どもの数] よりも [現実の子どもの数]の方が少ない理由〈複数回答〉

[問 22]

20歳代から40歳代の、[理想の子どもの数] よりも [現実の子どもの数]の方が少ない理由を見ると、20歳代では「結婚しなかったから（するつもりがないから）」が14.0%、「現在は理想の子どもの数に届いていないが、今後、子どもを持つ予定である」が12.0%となっている。30歳代では「結婚しなかったから（するつもりがないから）」が16.4%で最も多く、次いで「経済的に難しかったから」が14.8%、「子育てと仕事の両立が難しかったから」が9.8%と続いています。40歳代では「経済的に難しかったから」が19.3%で最も多く、次いで「健康上の理由で、妊娠・出産が困難だったから」が15.8%、「年齢的に難しくなってしまったから」が14.0%で続いています。

■「現在の子どもの数」よりも「現実の子どもの数」が少ない理由（年齢別〈20歳代～40歳代〉）



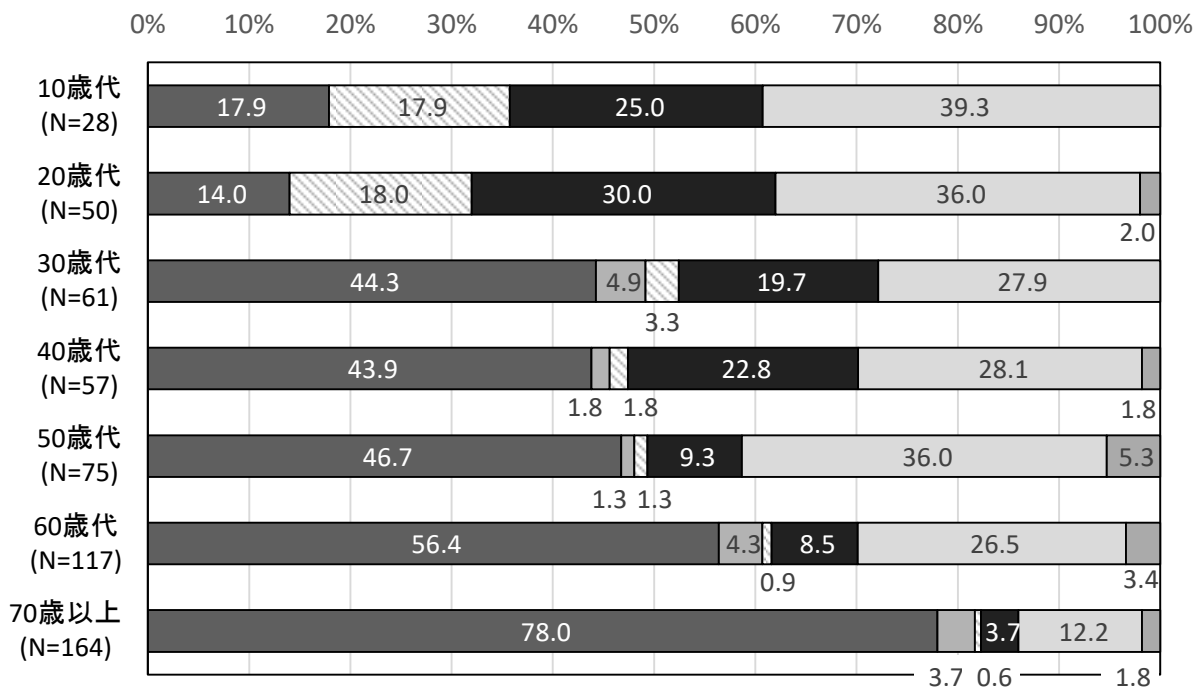
5 定住・移住について

(1) 今後の高取町への定住意向〈単数回答〉〔問 23〕

今後の高取町への定住意向を見ると、「できればずっと住み続けたい」と回答した割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られ、60歳代では56.4%、70歳以上では78.0%となっています。

一方、「高取町外に転出したい、または転出する予定」と回答した割合は、10歳代で25.0%、20歳代で30.0%、30歳代で19.7%、40歳代で22.8%となっています。

■ 今後の高取町への定住意向（年齢7区分別）



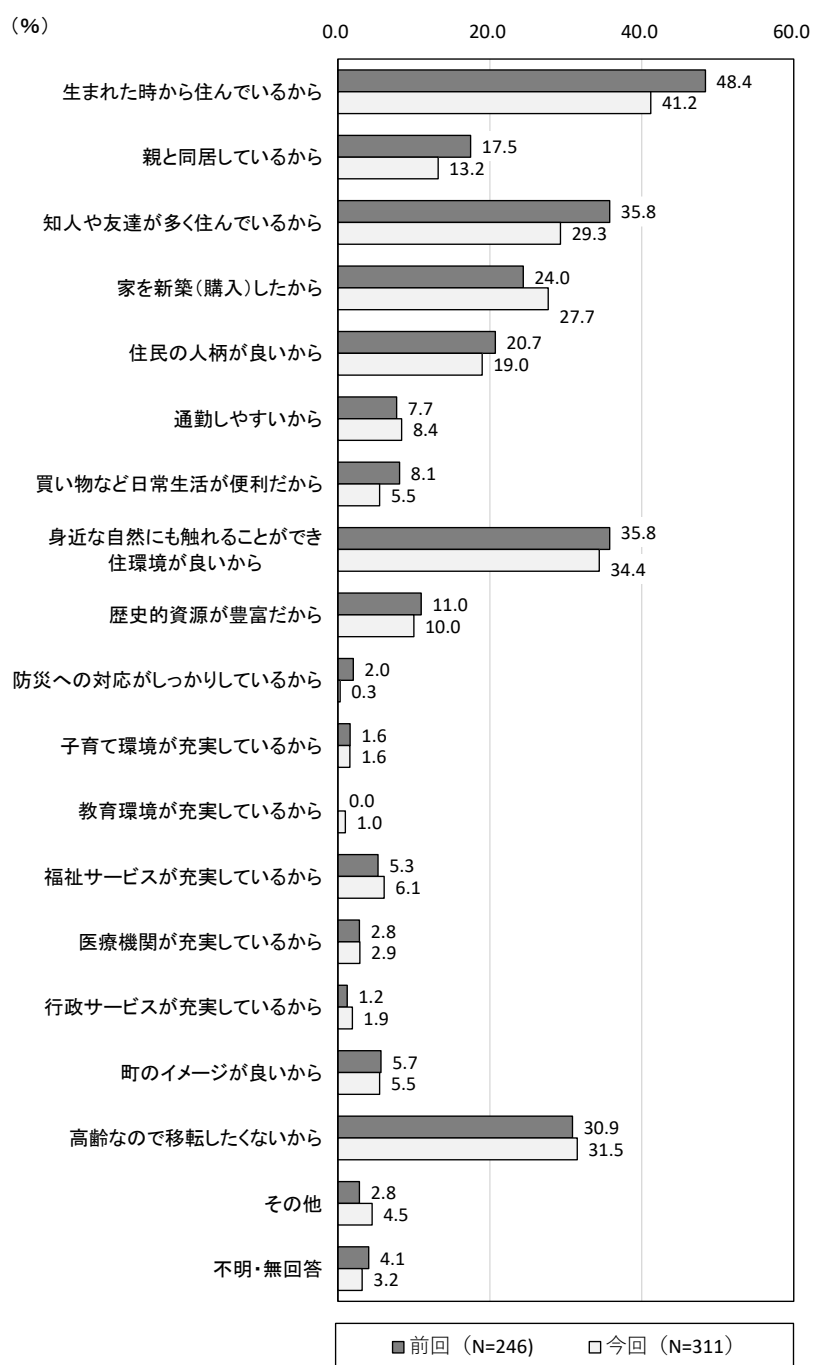
- できればずっと住み続けたい
- 現在の住居は変わりたいが、引き続き高取町内に住み続けたい
- 一旦、高取町外に移り、いずれは戻ってきたい
- 高取町外に転出したい、または転出する予定
- わからない
- 不明・無回答

(2) 高取町内に住み続けたいと思う理由〈複数回答〉〔問24〕

高取町内に住み続けたいと思う理由について見ると、「生まれた時から住んでいるから」が最も多く41.2%となっており、次いで「身近な自然に触れることができ住環境が良いから」が34.4%、「高齢なので移転したくないから」が31.5%、「知人や友達が多く住んでいるから」が29.3%となっています。

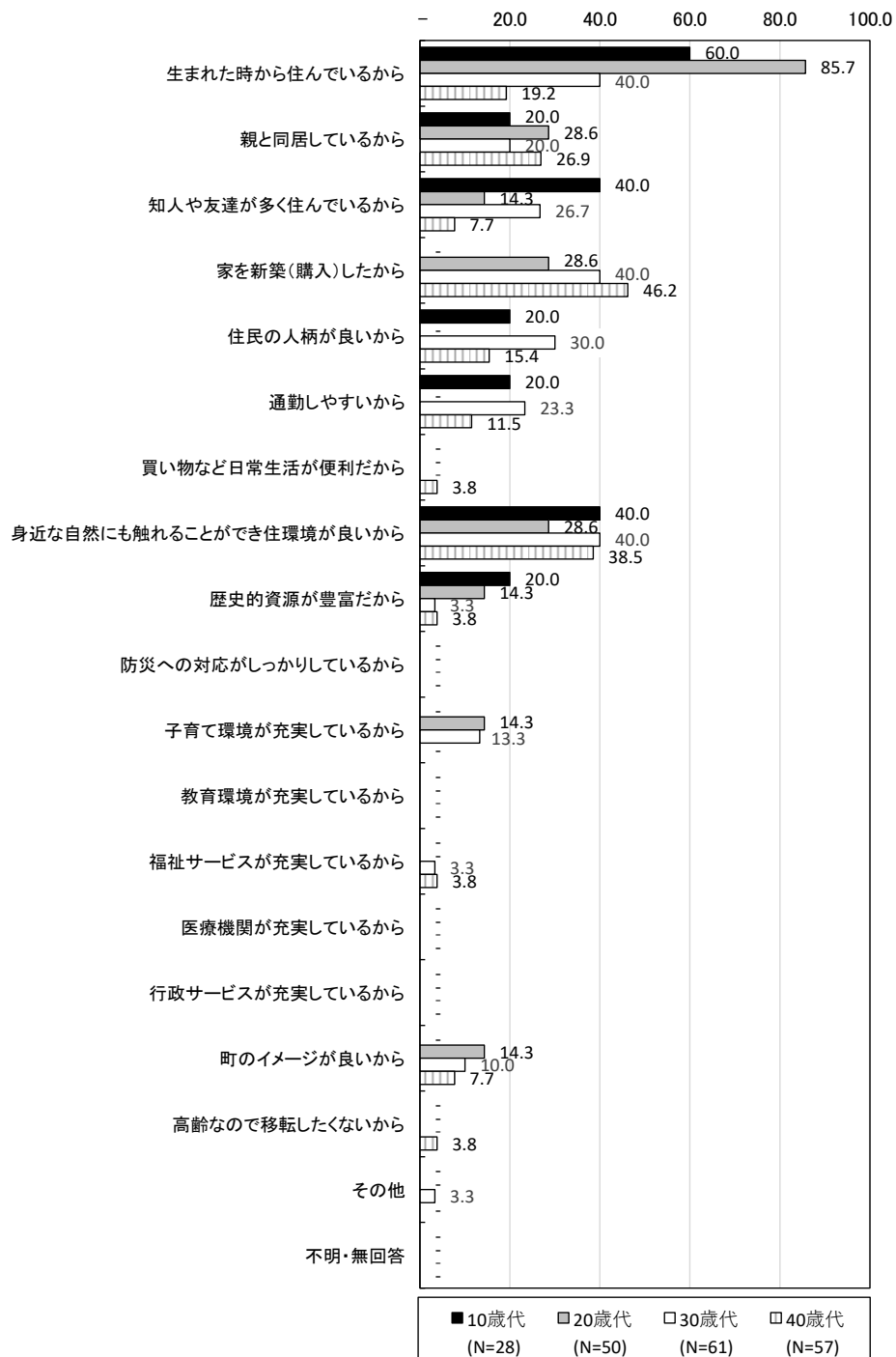
また前回調査との比較で見ると、「生まれた時から住んでいるから」が7.2ポイント減少しているほか、「知人や友人が多く住んでいるから」が6.5ポイント、「親と同居しているから」が4.3ポイント減少しています。一方で、「家を新築（購入）したから」が3.7ポイント増加しています。

■住み続けたい理由（前回調査との比較）



年代別に見ると、10歳代では「生まれた時から住んでいるから」が60.0%、「知人や友達が多く住んでいるから」と「身近な自然にも触れることができ住環境が良いから」が40.0%となっています。20歳代では、「生まれた時から住んでいるから」が85.7%、「親と同居しているから」と「家を新築（購入）したから」、「身近な自然にも触れることができ住環境が良いから」が28.6%となっています。30歳代では「生まれた時から住んでいるから」と「家を新築（購入）したから」、「身近な自然にも触れることができ住環境が良いから」がそれぞれ40.0%となっています。40歳代では「家を新築したから」が46.2%、「身近な自然にも触れることができ住環境が良いから」が38.5%となっています。

■ 住み続けたい理由（年齢別〈20歳代～40歳代〉）

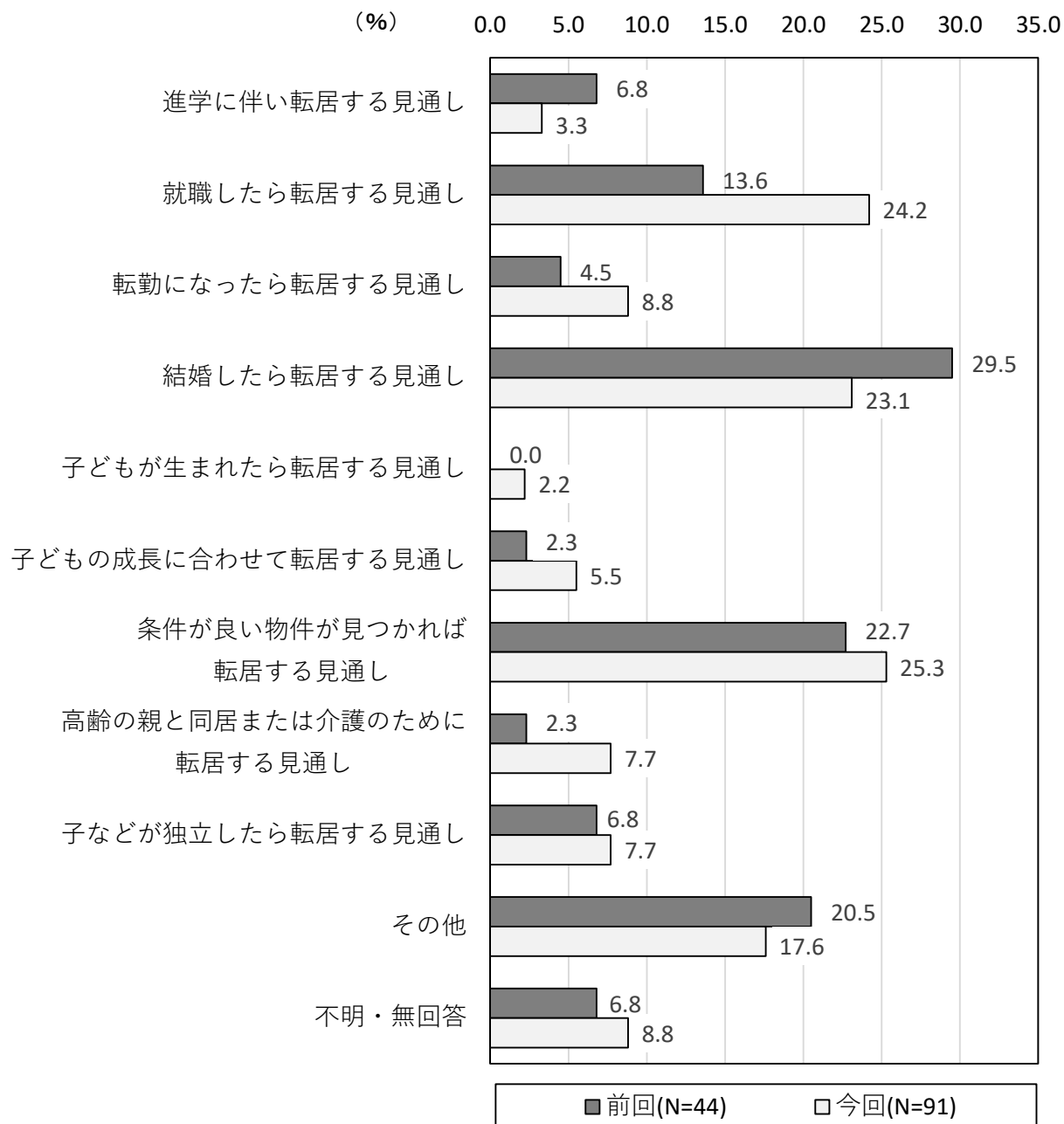


(3) 今後の転居のきっかけや見通し〈複数回答〉〔問25〕

今後の転居のきっかけや見通しについて見ると、「条件が良い物件が見つければ転居する見通し」が23人で最も多く、「就職したら転居する見通し」が22人、「結婚したら転居する見通し」が21人と続いています。

前回調査と比較すると、「結婚したら転居する見通し」などが減っている一方で、「就職したら転居する見通し」などが増えています。

■今後の転居のきっかけや見通し（前回調査との比較）

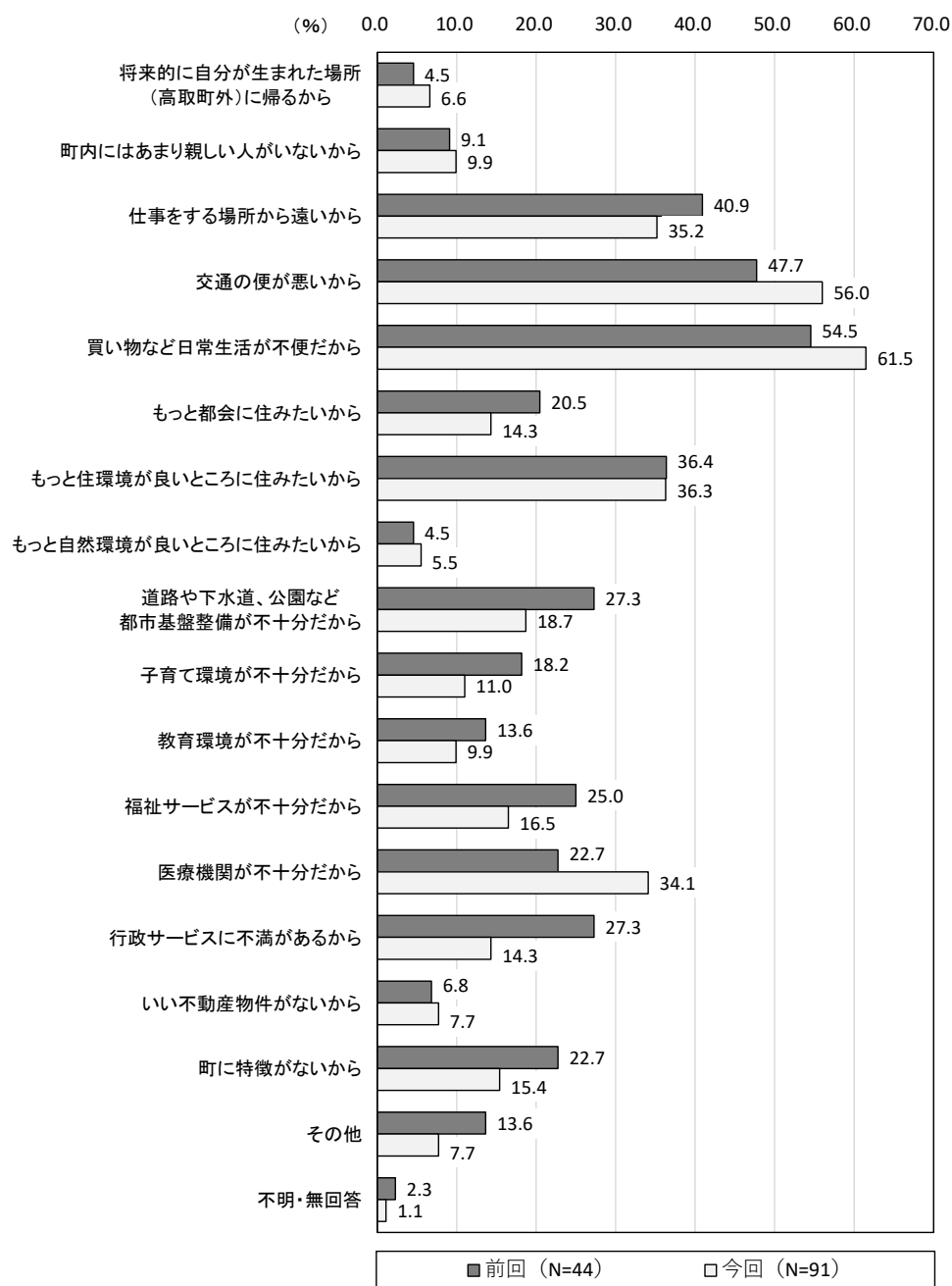


(4) 高取町外に転居したいと思う理由〈複数回答〉〔問26〕

町外に転居したいと思う理由を見ると、「買い物など日常生活に不便だから」が61.5%で最も高く、次いで「交通の便が悪いから」(56.0%)、「もっと住環境がよいところに住みたいから」(36.3%)、「仕事をする場所が遠いから」(35.2%)、「医療機関が不十分だから」(34.1%)が続いています

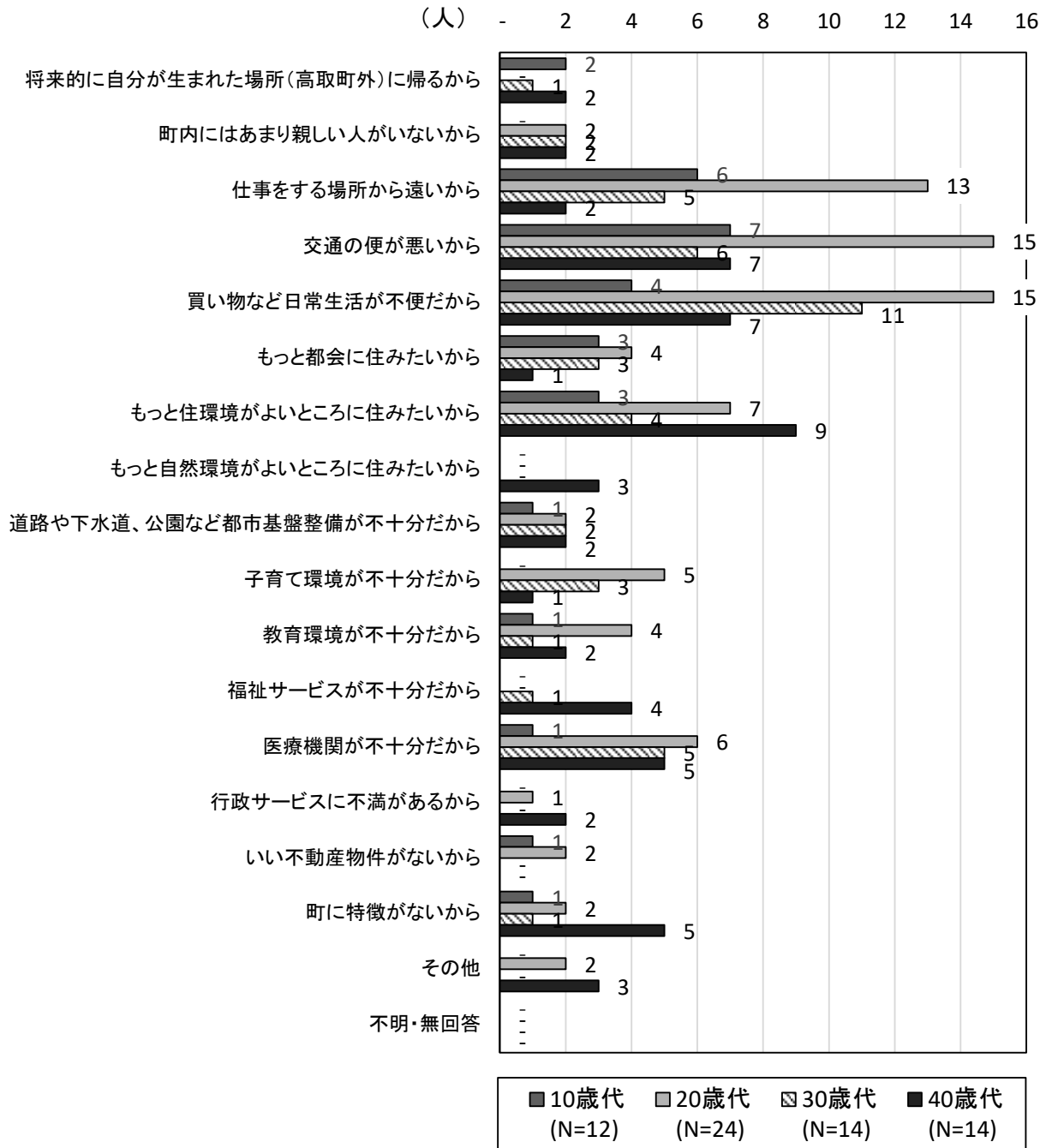
また前回調査と比較すると、「医療機関が不十分だから」が11.4ポイント上がり、その他、「交通の便が悪いから」が8.3ポイント、「買い物など日常生活が不便だから」が7.0ポイント上がっています。一方で、「行政サービスに不満があるから」が13.0ポイント、「道路や下水道、公園など都市基盤整備が不十分だから」が8.6ポイント、「福祉サービスが不十分だから」8.5ポイント、それぞれ下がっています。

■ 町外へ転居したい理由（前回調査との比較）



年代別に見ると、10歳代では「交通の便が悪いから」（7人）、「仕事をする場所が遠いから」（6人）など多く、20歳代では「交通の便が悪いから」（15人）と「買い物など日常生活が不便だから」（15人）、「仕事をする場所が遠いから」（13人）など多くなっています。30歳代では「買い物など日常生活が不便だから」（11人）、「交通の便が悪いから」（6人）など多く、40歳代では「もっと住環境がよいところに住みたいから」（9人）、「交通の便が悪いから」（7人）、「買い物など日常生活が不便だから」（7人）など多くなっています。

■ 町外へ転居したい理由（年齢別〈20歳代～40歳代〉）

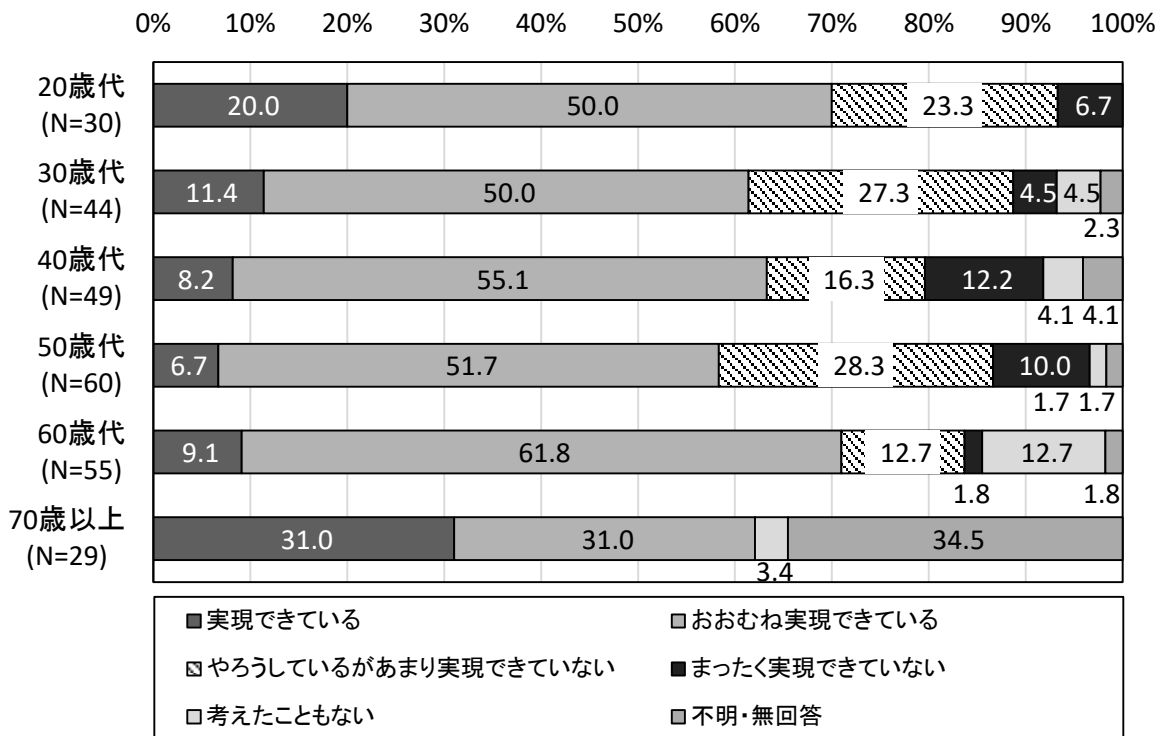


6 仕事と私生活の調和について

(1) 仕事と私生活の調和を実現できているか〈単数回答〉〔問27〕

仕事と私生活の調和を実現できているか年齢別で見たところ、「実現できている」と「おおむね実現できている」の合計は、20歳代では70.0%、30歳代では61.4%、40歳代では63.3%、50歳代では58.4%、60歳代では70.9%、70歳以上では62.0%となっています。

■仕事と生活との調和（年齢7区分別）

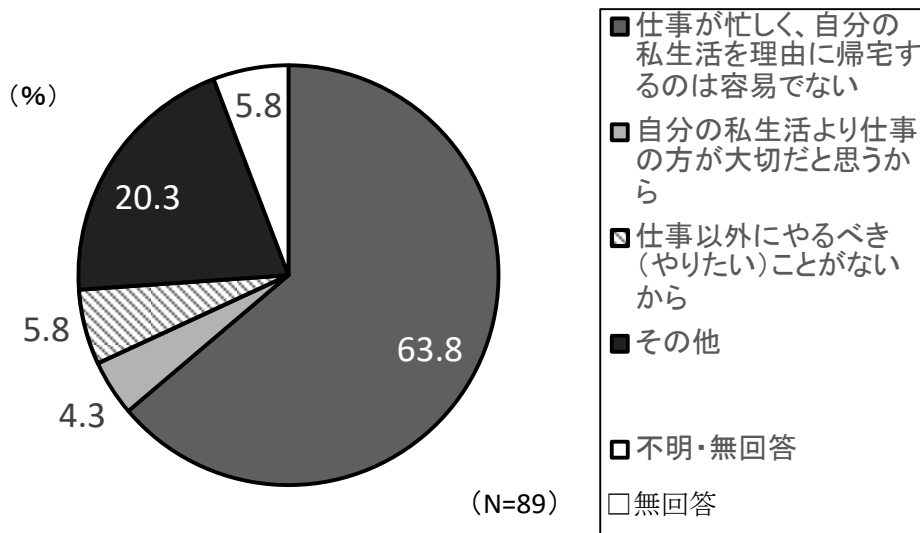


(2) 仕事と私生活の調和ができていない理由〈単数回答〉〔問28〕

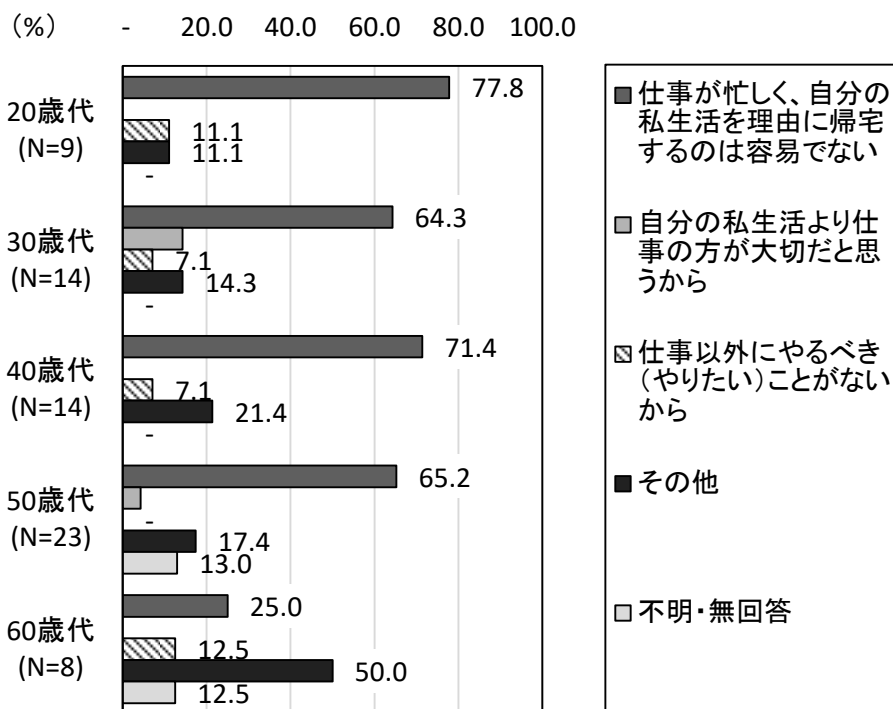
仕事と私生活の調和ができていない理由について見ると、「仕事が忙しく、自分の私生活を理由に帰宅するのは容易でない」が63.8%と最も多くなっています。

年齢別にみても、「20歳代から50歳代までは「仕事が忙しく、自分の私生活を理由に帰宅するのは容易でない」が最も多くなっており、それぞれ77.8%、64.3%、71.4%、65.2%となっています。

■仕事と生活の調和ができていない理由（単純集計）



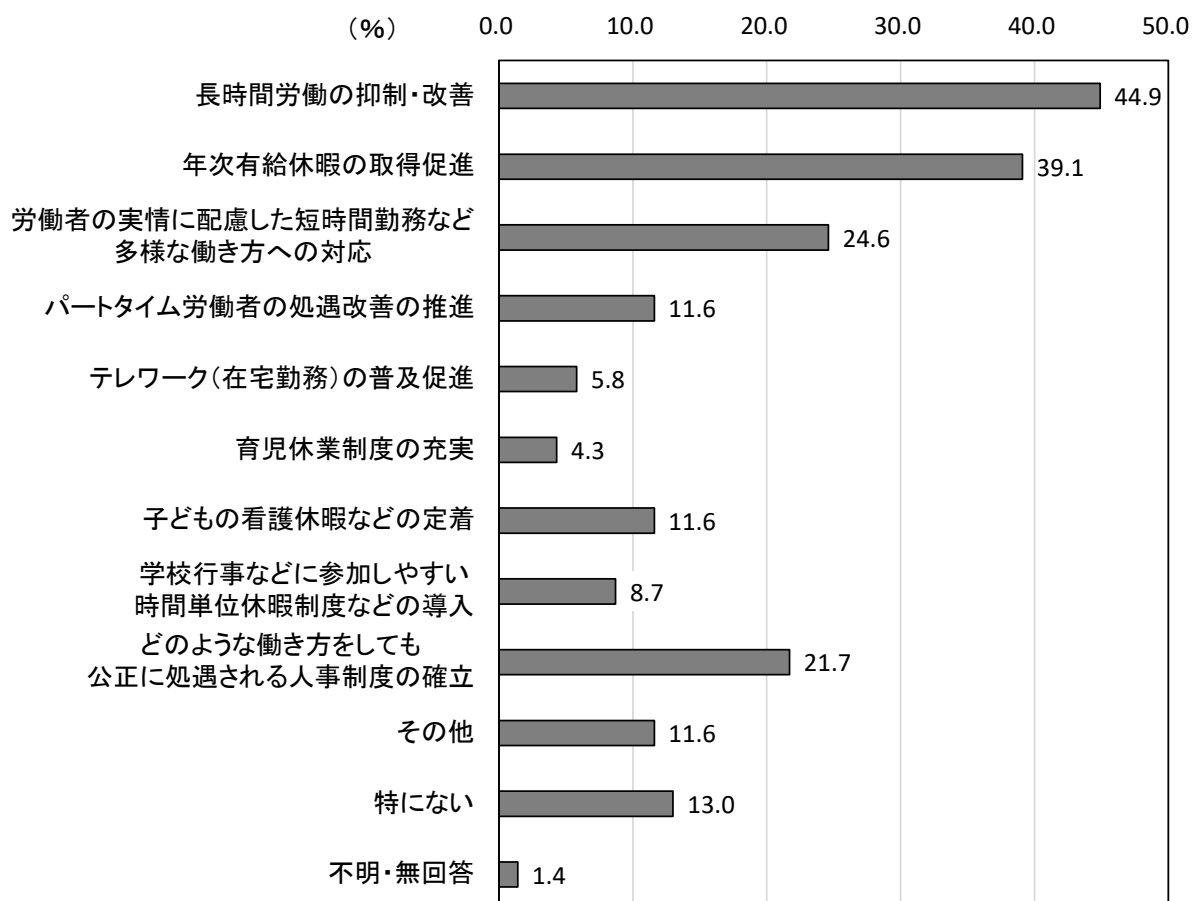
■仕事と生活が調和できていない理由（年齢7区分別）



(3) 仕事と私生活の調和を実現するために、企業や事業者等にどんなことに取り組んで欲しいか〈複数回答〉〔問29〕

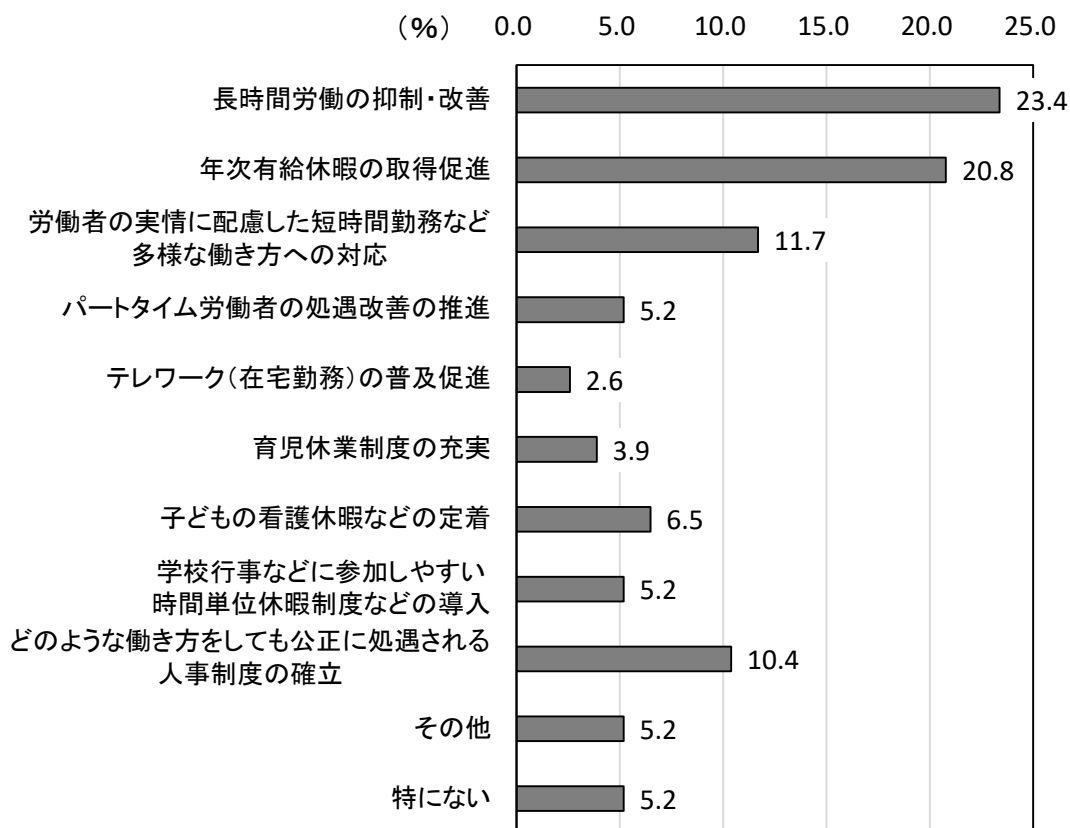
仕事と私生活の調和を実現するために、企業や事業者等に取り組んで欲しいことを見ると、「長時間労働の抑制・改善」が最も多く 44.9%となっており、次いで「年次有給休暇の取得促進」が 39.1%、「労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応」が 24.6%、「どのような働き方をしても公正に処遇される人事制度の確立」が 21.7%となっています。

■企業や事業者等に取り組んで欲しいこと（単純集計）



仕事と私生活の調和を実現するために、企業や事業者等に取り組んで欲しいことを 20 歳代、30 歳代、40 歳代に絞って見ると、「長時間労働の抑制・改善」が最も多く 23.4%、次いで「年次有給休暇の取得促進」が 20.8%、「労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応」が 11.7%、「どのような働き方をしても公正に処遇される人事制度の確立」が 10.4%となっています。

■企業や事業者等に取り組んで欲しいこと（20 歳代～40 歳代の合計数）



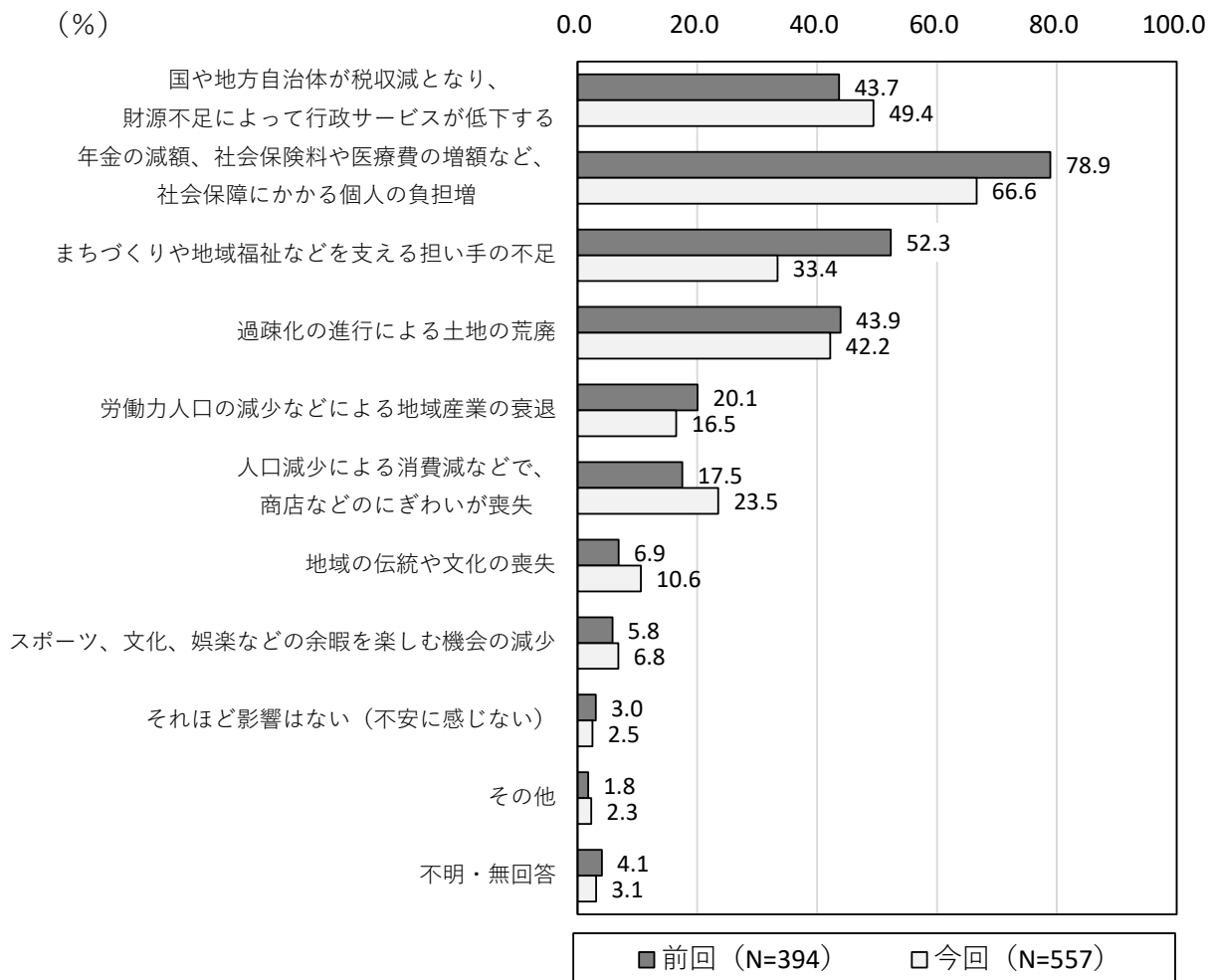
7 本町の今後の施策について

(1) 本町で人口減少、少子高齢化が進行していくことで生じる影響について考えること とや不安に感じること〈複数回答〉〔問 30〕

人口減少や少子高齢化が進行していくことで生じる影響について考えることや不安に感じることを見ると、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増」が66.6%と最も高く、次いで「国や地方自治体が税収減となり、財源不足によって行政サービスが低下する」が49.4%、「過疎化の進行による土地の荒廃」が42.2%となっています。

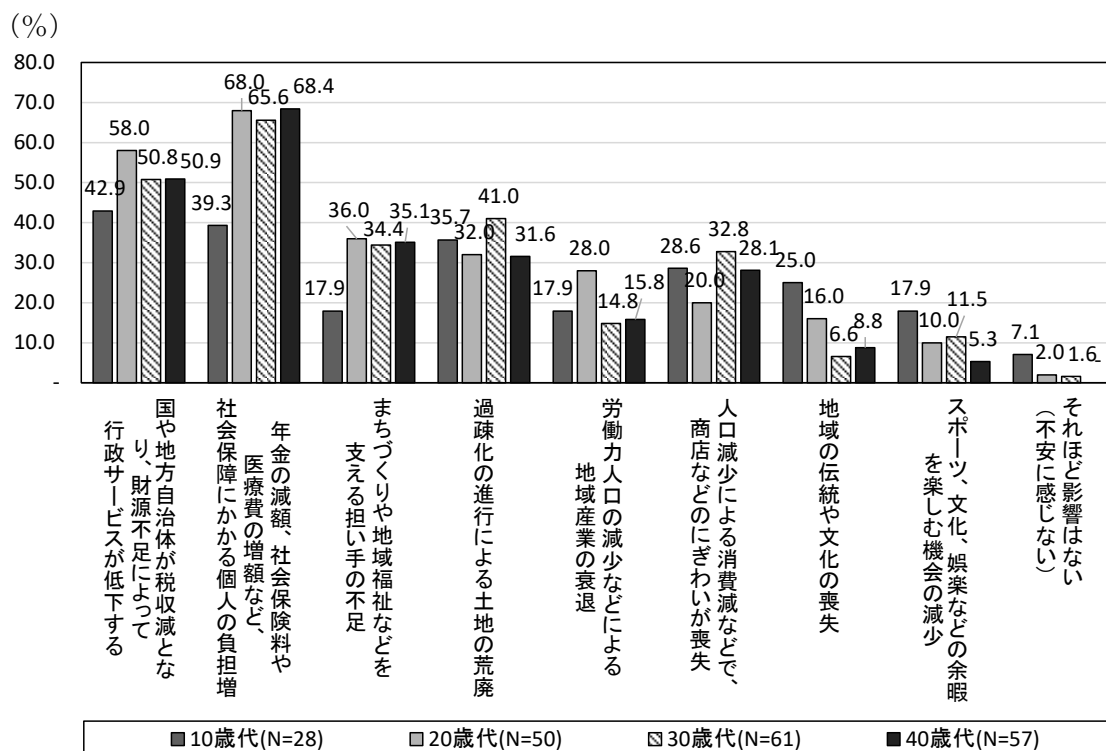
前回調査と比べると、「人口減少による消費減などで、商店などのにぎわいが喪失」が6.0ポイント、「国や地方自治体が税収減となり、財源不足によって行政サービスが低下する」が5.7ポイント増加している。一方で、「まちづくりや地域福祉などを支える担い手の不足」が18.9ポイント、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増」が12.3ポイント減少するなどしています。

■人口減少などで生じる影響や不安（前回調査との比較）



年齢別で見ると、「国や地方自治体が税収減となり、財源不足によって行政サービスが低下する」、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増」は総じて高く各年代で5割を超えており、「過疎化の進行による土地の荒廃」や、「まちづくりや地域福祉などを支える担い手の不足」でも各年代で3割を超えています。

■人口減少などで生じる影響や不安（年齢別〈20歳代～40歳代〉）

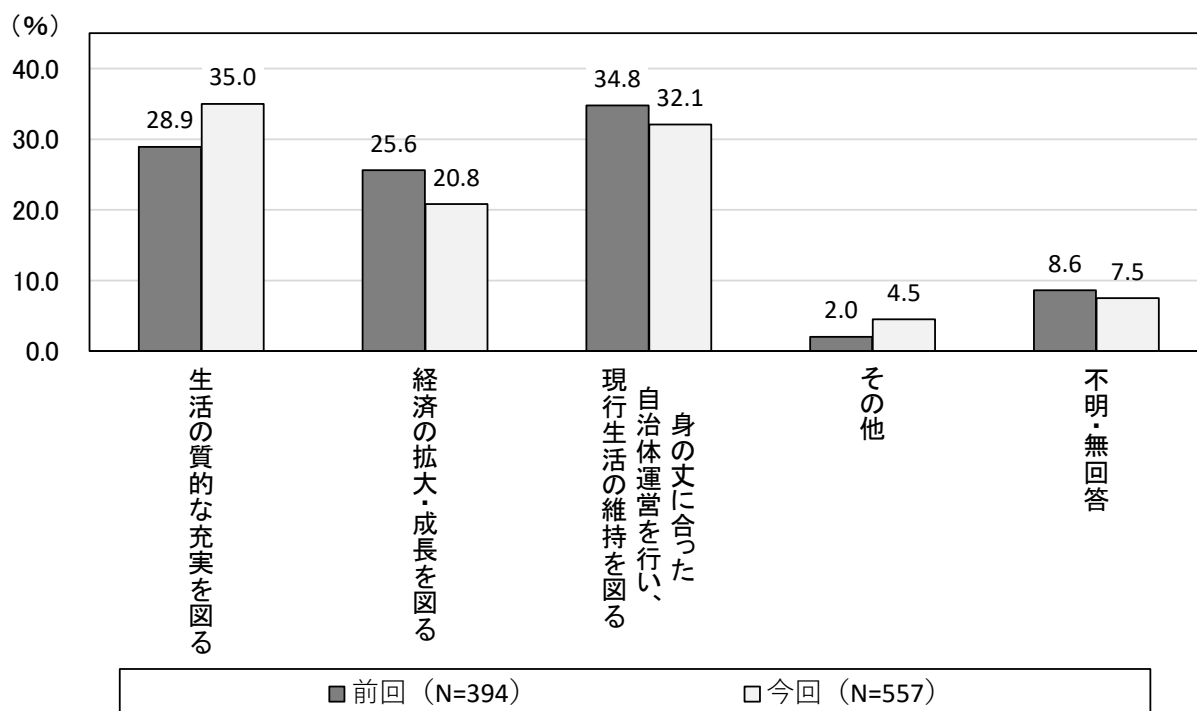


(2) 社会状況の変化を踏まえ、今後の本町の自治体運営は、どのような方針に基づき実施すべきか〈複数回答〉〔問 31〕

社会状況の変化を踏まえた本町における自治体運営の今後の方針について見ると、「生活の質的な充実を図る」が最も多く 35.0%、次いで「身の丈に合った自治体運営を行い、現行生活の維持を図る」が 32.1%、「経済の拡大・成長を図る」が 20.8%となっています。

前回調査と比較すると、「生活の質的な充実を図る」が 6.1 ポイント増加しているのに対して、「経済の拡大・成長を図る」が 4.8 ポイント、「身の丈に合った自治体運営を行い、現行生活の維持を図る」が 2.7 ポイント減少しています。

■今後の自治体運営（前回調査との比較）



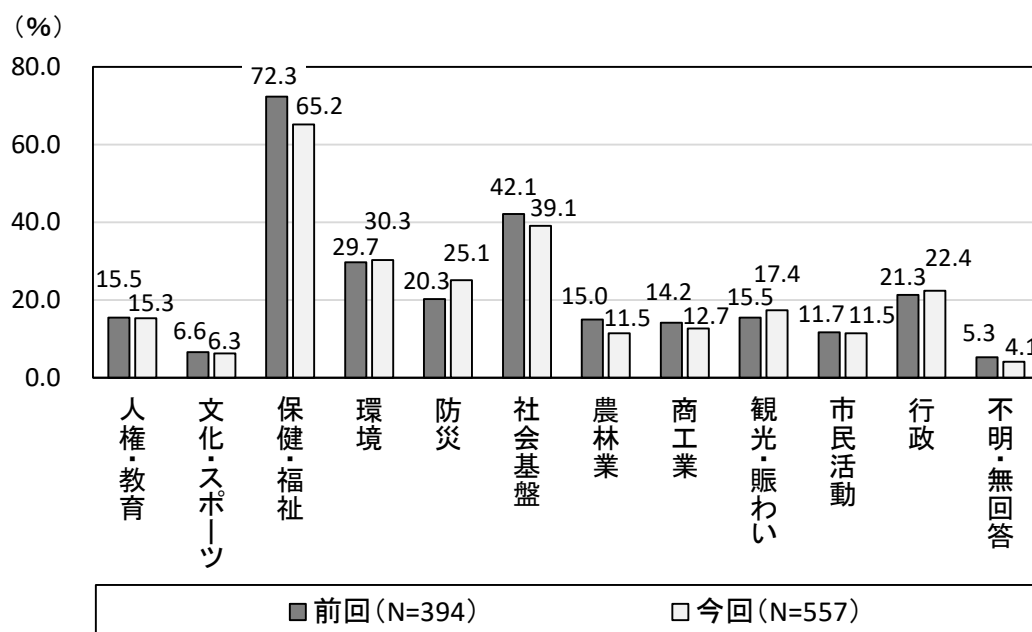
(3) 今後 10 年先の高取町を考えたときに、特に重要な施策分野は何か〈複数回答〉

〔問 32〕

今後 10 年先の高取町を考えたときに、特に重要な施策分野について見ると、「保健・福祉」が 65.2% と最も高く、次いで「社会基盤」が 39.1%、「環境」が 30.3%、「防災」が 25.1%、「行政」が 22.4% と続きました。

前回調査と比較すると、「防災」が 4.8 ポイント、「観光・賑わい」が 1.9 ポイント、「行政」が 1.1 ポイント増加しているのに対して、「保健・福祉」が 7.1 ポイント、「農林業」が 3.5 ポイント、「商工業」が 1.5 ポイント減少しています。

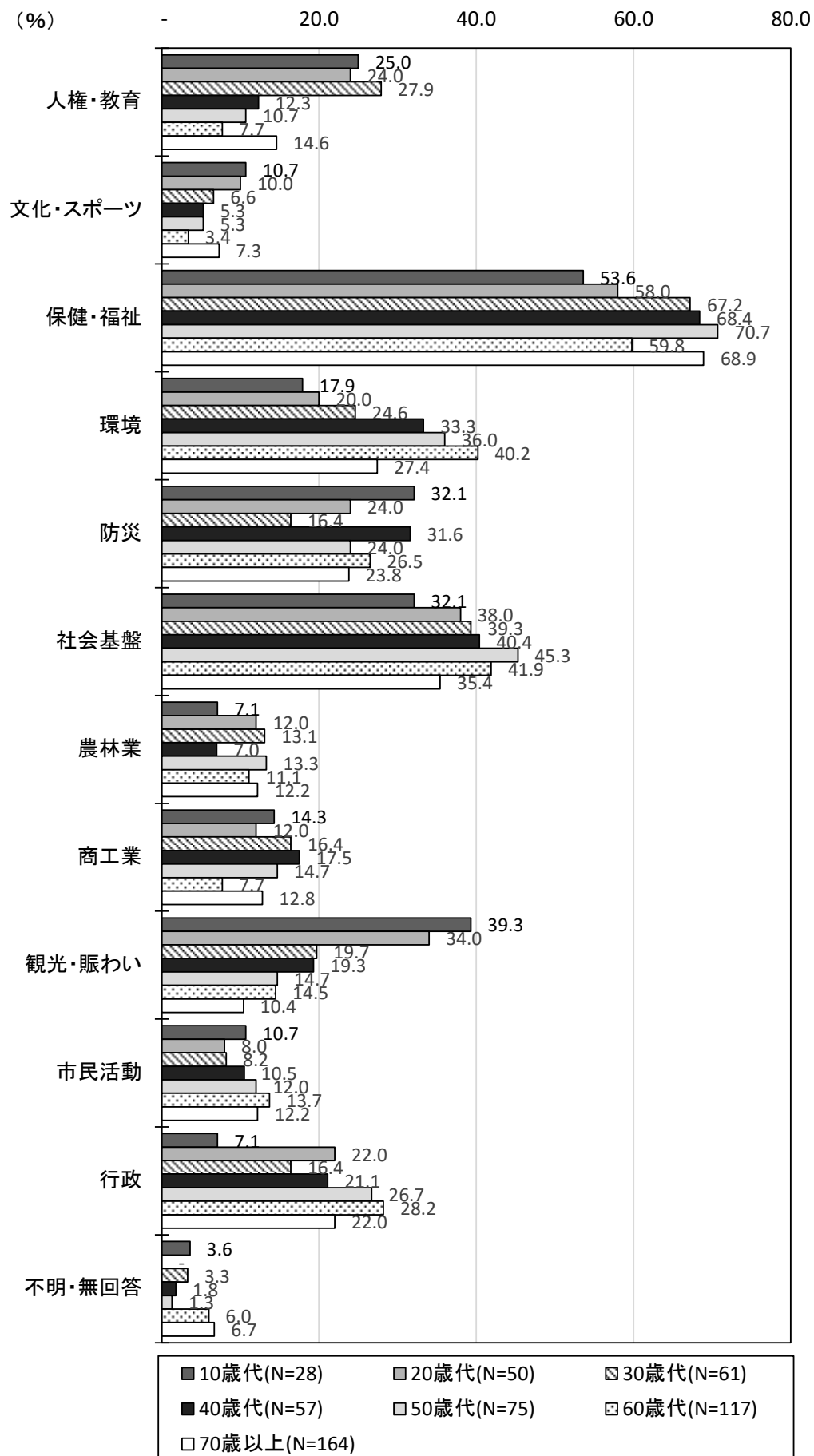
■重要な施策分野（前回調査との比較）



年齢別で見ると「保健・福祉」が各年代とも最も高くなっており、次いで 10 歳代では「観光・賑わい」(39.3%)、「社会基盤」(32.1%) が高く、20 歳代では「社会基盤」(38.0%)、「観光・賑わい」(34.0%)、30 歳代では「社会基盤」(39.3%)、「人権・教育」(27.9%) がそれぞれ高くなっています。

40 歳代では、「社会基盤」(40.4%)、「環境」(33.3%)、「防災」(31.6%) が高く、50 歳代では「社会基盤」(45.3%)、「環境」(36.0%) が高くなっています。60 歳代では「社会基盤」(41.9%) や「環境」(40.2%) が高く、70 歳以上では「社会基盤」(35.4%)、「環境」(27.4%) などが高くなっています。

■重要な施策分野（年齢7区分別）



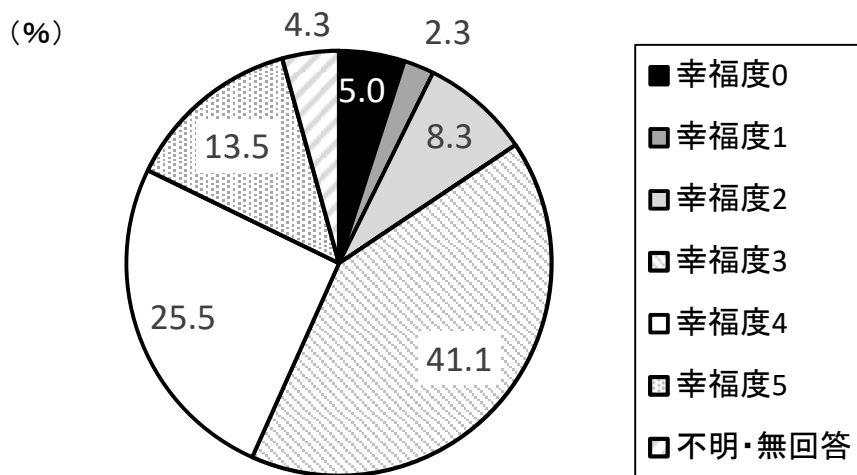
8 幸福感について

(1) あなたは、幸せだと感じますか〈単数回答〉〔問 33〕

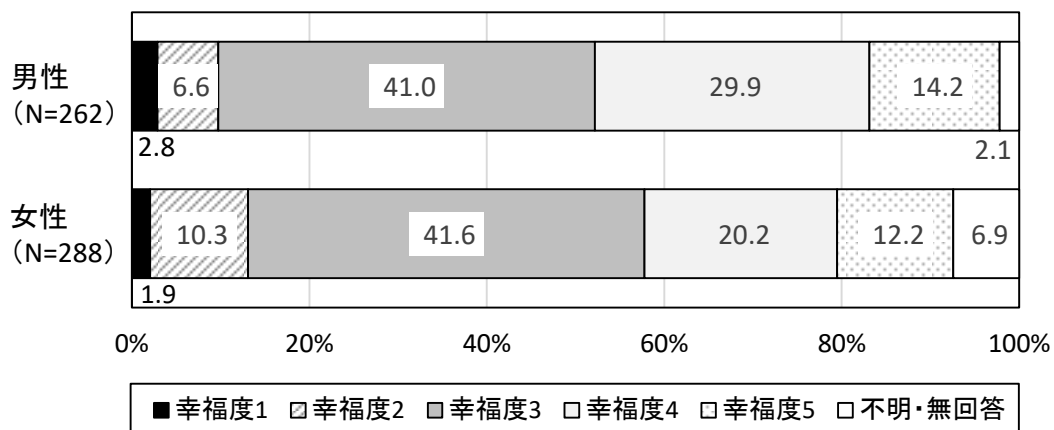
幸福度について6段階で見ると、「幸福度2（上から4段階目）」が41.1%と最も多く、次いで「幸福度3（上から3段階目）」が25.5%となっています。

男女別では女性より男性の方が幸福度は高く、年齢別で見ると、若年ほど幸福度が相対的に高い傾向があります。ただ、30歳代では「幸福度0」を選択した人が11.5%、40歳代では7.0%いる一方で、「幸福度5」を選んだ30歳代は21.3%、40歳代は19.3%いるなど、壮年層では世代内での幸福実感に差があることが分かります。

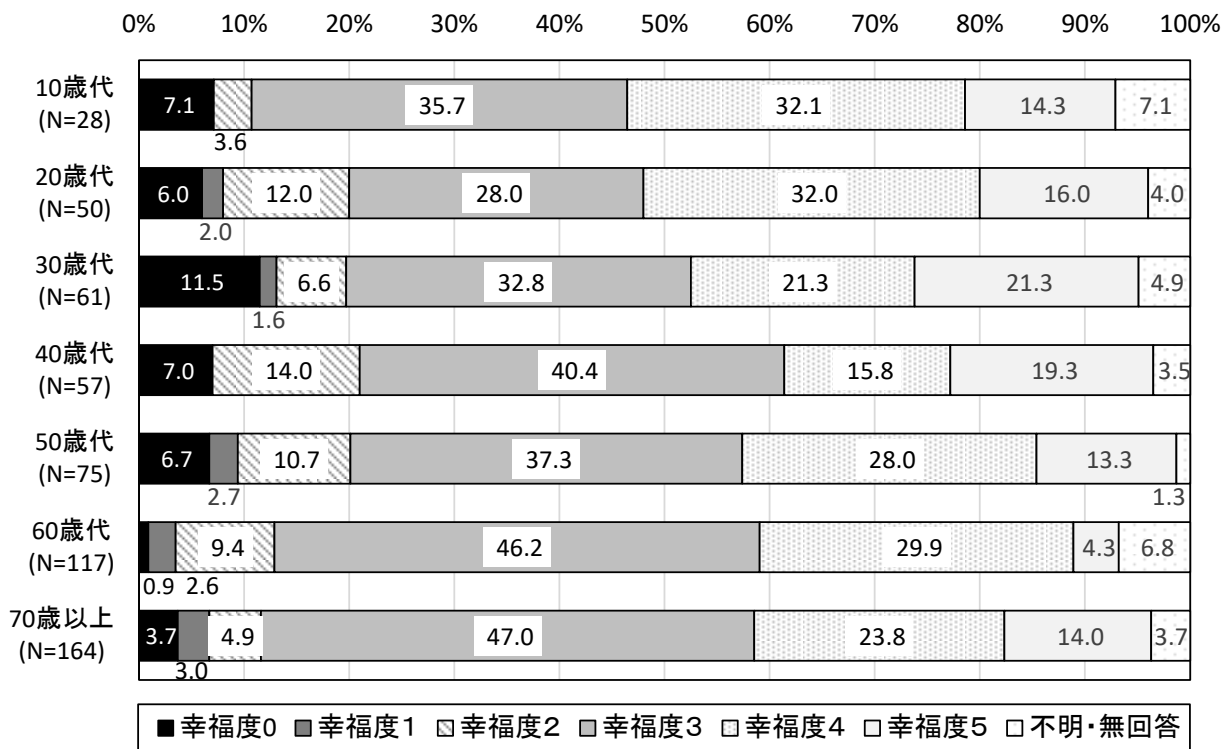
■ 幸福感（単純集計）



■ 幸福感（男女別）



■ 幸福感（年齢7区分別）



Ⅲ. 調査結果(単純集計)

問1 性別

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	262	47.0	47.6
2	女性	288	51.7	52.4
3	どちらでもない	0	0.0	0.0
	不明・無回答	7	1.3	
	N (%ベース)	557	100.0	550

問2 年齢

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	10歳代	28	5.0	5.1
2	20歳代	50	9.0	9.1
3	30歳代	61	11.0	11.1
4	40歳代	57	10.2	10.3
5	50歳代	75	13.5	13.6
6	60歳代	117	21.0	21.2
7	70歳以上	164	29.4	29.7
	不明・無回答	5	0.9	
	N (%ベース)	557	100.0	552

問3 お住まい

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	清水谷	51	9.2	9.3
2	グリーンタウン	60	10.8	10.9
3	上子島	17	3.1	3.1
4	下子島	24	4.3	4.4
5	上土佐	20	3.6	3.6
6	下土佐	35	6.3	6.4
7	観覚寺	50	9.0	9.1
8	吉備	6	1.1	1.1
9	松山	23	4.1	4.2
10	羽内	4	0.7	0.7
11	藤井	13	2.3	2.4
12	市尾	53	9.5	9.6
13	谷田	5	0.9	0.9
14	丹生谷	41	7.4	7.4
15	兵庫	32	5.7	5.8
16	車木	18	3.2	3.3
17	越智	22	3.9	4.0
18	寺崎	12	2.2	2.2
19	与楽	17	3.1	3.1
20	田井庄	17	3.1	3.1
21	薩摩	12	2.2	2.2
22	森	13	2.3	2.4
23	佐田	6	1.1	1.1
24	壺阪	0	0.0	0.0
	不明・無回答	6	1.1	
	N (%ベース)	557	100.0	551

問4 いつから高取町にお住まいですか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生まれた時から	244	43.8	44.1
2	転入してきた時から	309	55.5	55.9
	不明・無回答	4	0.7	
	N (%ベース)	557	100.0	553

問5 高取町に転入してきてから、何年になりますか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	5年未満	26	8.4	8.5
2	5年以上10年未満	21	6.8	6.9
3	10年以上20年未満	71	23.0	23.3
4	20年以上	187	60.5	61.3
	不明・無回答	4	1.3	
	N (%ベース)	309	100.0	305

問6 高取町に最初に転入することになった最も大きな要因は何ですか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	就職	4	1.3	1.3
2	転職	7	2.3	2.3
3	転勤	3	1.0	1.0
4	結婚	149	48.2	49.2
5	離婚	1	0.3	0.3
6	進学	10	3.2	3.3
7	住宅購入	80	25.9	26.4
8	借家の借り換え	6	1.9	2.0
9	家族からの独立	3	1.0	1.0
10	その他	40	12.9	13.2
	不明・無回答	6	1.9	
	N (%ベース)	309	100.0	303

問7 転入する際に、高取町を選んだ理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	職場または学校に近かったから	20	6.5	6.7
2	親の仕事の都合のため	15	4.9	5.0
3	結婚相手が住んでいたから	141	45.6	47.2
4	親族や親せきが近くに住んでいたから	46	14.9	15.4
5	住宅価格等の条件がよかったから	39	12.6	13.0
6	交通の利便性がよかったから	14	4.5	4.7
7	子育てしやすい環境だったから	9	2.9	3.0
8	教育環境がよかったから	0	0.0	0.0
9	買い物のしやすさなど日常生活の利便性がよかったから	4	1.3	1.3
10	自然環境が豊かだったから	41	13.3	13.7
11	古墳や城跡など歴史的資源が豊かであったから	12	3.9	4.0
12	歴史的な町並みが残り、豊かな文化が育まれてきた町だから	14	4.5	4.7
13	業業などの個性ある産業が立地しているから	2	0.6	0.7
14	人が親切で、人と人の交流が期待できるから	10	3.2	3.3
15	安全安心に暮らせるイメージがあったから	21	6.8	7.0
16	福祉が充実しているから	3	1.0	1.0
17	医療機関が充実しているから	1	0.3	0.3
18	その他	35	11.3	11.7
	不明・無回答	10	3.2	
	N (%ベース)	309	100.0	299

問8 あなたのご職業

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	会社・団体・官公庁などの正社員・正職員	138	24.8	25.0
2	契約社員や派遣社員	15	2.7	2.7
3	自営業主または家族従業員	47	8.4	8.5
4	パート・アルバイト(学生アルバイトを除く)	69	12.4	12.5
5	学生・生徒	45	8.1	8.2
6	専業主婦・主夫	100	18.0	18.1
7	無職(専業主婦・主夫を除く)	125	22.4	22.7
8	その他	12	2.2	2.2
	不明・無回答	6	1.1	
	N (%ベース)	557	100.0	551

問9 就業・就学先について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	高取町	67	21.3	22.1
2	橿原市	45	14.3	14.9
3	奈良県内(高取町・橿原市以外)	113	36.0	37.3
4	大阪府	49	15.6	16.2
5	京都府	5	1.6	1.7
6	その他	24	7.6	7.9
	不明・無回答	11	3.5	
	N (%ベース)	314	100.0	303

問10 日常的な行動範囲(日常的な買い物、かかりつけ医等)について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	高取町内が中心	43	7.7	7.8
2	高取町と橿原市が中心	300	53.9	54.5
3	奈良県内が中心	139	25.0	25.3
4	奈良県・大阪府・京都府が中心	55	9.9	10.0
5	その他	13	2.3	2.4
	不明・無回答	7	1.3	
	N (%ベース)	557	100.0	550

問11 高取町での暮らしの満足度について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	満足	58	10.4	10.9
2	どちらかと言えば満足	286	51.3	53.7
3	どちらかと言えば不満	157	28.2	29.5
4	非常に不満	32	5.7	6.0
	不明・無回答	24	4.3	
	N (%ベース)	557	100.0	533

問12 高取町に対する愛着について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	愛着を感じる	163	29.3	30.2
2	少しは感じる	259	46.5	48.0
3	あまり感じない	92	16.5	17.0
4	まったく感じない	26	4.7	4.8
	不明・無回答	17	3.1	
	N (%ベース)	557	100.0	540

問13 町政への関心について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	関心がある	80	14.4	14.9
2	どちらかと言えば関心がある	244	43.8	45.4
3	どちらかと言えば関心がない	159	28.5	29.6
4	まったく関心がない	54	9.7	10.1
	不明・無回答	20	3.6	
	N (%ベース)	557	100.0	537

問14 各施策の満足度①

	妊娠・出産・子育てに関する情報提供・相談	妊娠・出産・子育てに関する助成	子ども預かり制度の充実(一時預かりや放課後児童クラブなど)	子どもと親の健康づくりの推進	子どもの権利擁護の推進	教育施設の充実(学校・園施設の空調設備やトイレ洋式化など)	魅力ある教育の実施
満足	5.5	5.0	7.9	6.4	4.3	8.5	4.5
やや満足	49.5	45.5	48.4	51.6	53.0	43.6	41.6
やや不満	37.7	39.7	35.3	35.9	37.2	37.1	44.6
不満	7.3	9.7	8.4	6.1	5.4	10.8	9.3

問14 各施策の満足度②

	学校と地域とのネットワークづくり	生涯保健体制・地域医療の充実(各種健診や予防接種など)	生涯活動の推進(生涯学習や町民スポーツなど)	地域福祉の充実	高齢者福祉の充実(介護予防や介護サービスなど)	生活・都市基盤の整備、充実(公共交通や公共下水道、公園など)	既存ストックの適切な活用・維持管理(橋梁、町営住宅など)
満足	6.9	13.4	8.3	5.6	9.1	1.7	2.8
やや満足	45.4	55.1	54.4	50.1	51.9	23.2	34.0
やや不満	39.3	25.6	31.8	36.2	31.8	45.1	46.9
不満	8.4	5.9	5.6	8.1	7.1	30.1	16.3

問14 各施策の満足度③

	防災・減災の推進	交通安全対策の推進	防犯対策の推進	環境保全の推進(ごみ処理や町内美化など)	新たな観光資源の開発	観光客の利便性の向上	イベント等によるまちの魅力PR事業の実施
満足	5.5	6.2	6.8	10.7	4.2	3.3	7.5
やや満足	39.1	40.6	38.6	49.8	27.9	25.9	41.2
やや不満	39.8	39.1	42.8	29.9	47.1	48.3	40.4
不満	15.6	14.1	11.8	9.6	20.8	22.4	10.9

問14 各施策の満足度④

	移住促進を旨としたまちづくり計画の検討	農林業の振興支援	商工業の振興支援(くすり産業文化の振興など)	企業誘致・創業のためのPRや交渉	企業誘致・創業のための支援制度の創設
満足	3.7	2.8	4.0	1.9	1.7
やや満足	25.8	32.4	36.3	26.1	27.1
やや不満	52.7	49.2	48.9	48.5	47.9
不満	17.8	15.6	10.7	23.5	23.3

問15 結婚の状況について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	結婚している	366	65.7	67.2
2	結婚していたことはあるが、離(死)別した	40	7.2	7.3
3	結婚していない	139	25.0	25.5
	不明・無回答	12	2.2	
	N (%ベース)	557	100.0	545

問16 今後、結婚したいと思いますか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	すぐにもほしい	14	7.8	8.5
2	いずれはほしい	86	48.0	52.1
3	結婚したくない	65	36.3	39.4
	不明・無回答	14	7.8	
	N (%ベース)	179	100.0	165

問17 結婚していない、あるいは、結婚したくない理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	まだ若いから	53	29.6	34.4
2	必要性を感じないから	29	16.2	18.8
3	仕事に集中したいから	14	7.8	9.1
4	趣味に集中したいから	10	5.6	6.5
5	独身生活の方が気楽だから	35	19.6	22.7
6	結婚したい相手がいないから	46	25.7	29.9
7	異性とのつきあいが苦手だから	10	5.6	6.5
8	異性との出会いの場がないから	23	12.8	14.9
9	周囲の同意が得られないから	2	1.1	1.3
10	前回の結婚でもう十分だから	17	9.5	11.0
11	結婚資金がないから	16	8.9	10.4
12	結婚後の経済的基盤を得るのが困難だから	11	6.1	7.1
13	住む場所や家を得るのが困難だから	8	4.5	5.2
14	その他	17	9.5	11.0
	不明・無回答	25	14.0	
	N (%ベース)	179	100.0	154

問18 結婚支援のために、行政が実施することが望ましい施策はどのようなものと考えます:(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	結婚したい男女の出会いの場づくり(街コン・婚活イベント等)	157	28.2	32.6
2	結婚相談員を配置して、パートナー探しをきめ細かく支援する	41	7.4	8.5
3	他市町村と連携して、広域的な結婚支援事業を展開する	125	22.4	25.9
4	異性とのつきあいが苦手な方を対象に、結婚支援講座を開催する	38	6.8	7.9
5	安定的な収入確保のための就職支援をする	228	40.9	47.3
6	企業などに働きかけて、労働時間短縮の普及に努める	58	10.4	12.0
7	企業などに働きかけて、男女ともに子育てしやすい職場の環境整備を勧奨する	208	37.3	43.2
8	男性の家事・育児への参加を促すための取り組みや啓発を進める	65	11.7	13.5
9	学校教育を通じて、若い世代からの結婚や子育てに関する意義の啓発を進める	71	12.7	14.7
10	個人の問題なので、行政が支援策を実施する必要はない	89	16.0	18.5
11	その他	15	2.7	3.1
	不明・無回答	75	13.5	
	N (%ベース)	557	100.0	482

問19 あなたのお子さんについてお答えください

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どもはいない	150	26.9	29.6
2	就学前の子どもがいる	26	4.7	5.1
3	小学生の子どもがいる	32	5.7	6.3
4	中学生の子どもがいる	17	3.1	3.4
5	高校生の子がいる	21	3.8	4.2
6	専門学校生・大学生・大学院生の子がいる	32	5.7	6.3
7	子どもはいるが、既に独立している(就職、結婚を含む)	274	49.2	54.2
8	その他	7	1.3	1.4
	不明・無回答	51	9.2	
	N (%ベース)	557	100.0	506

問20 あなたのお子さんは何人ですか

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人(子どもはいない)	150	26.9	29.1
2	1人	54	9.7	10.5
3	2人	236	42.4	45.7
4	3人	67	12.0	13.0
5	4人	8	1.4	1.6
6	5人	0	0.0	0.0
7	6人	1	0.2	0.2
	不明・無回答	41	7.4	
	N (%ベース)	557	100.0	516

問21 あなたの理想の子どもの数は何人ですか

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どもは欲しくない(欲しくなかった)	36	6.5	7.4
2	1人	20	3.6	4.1
3	2人	249	44.7	51.3
4	3人	167	30.0	34.4
5	4人	10	1.8	2.1
6	5人	2	0.4	0.4
7	6人	1	0.2	0.2
	不明・無回答	72	12.9	
	N (%ベース)	557	100.0	485

問22 「理想の子どもの数」よりも「現実の子どもの数」の方が少ない理由は何ですか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	結婚しなかったから(するつもりがないから)	33	5.9	17.6
2	年齢的に難しくなってしまったから	32	5.7	17.1
3	経済的に難しかったから	57	10.2	30.5
4	子育てと仕事の両立が難しかったから	30	5.4	16.0
5	子育てに家族の協力を得るのが難しかったから	18	3.2	9.6
6	健康上の理由で、妊娠・出産が困難だったから	46	8.3	24.6
7	保育所や学童保育等の子育て支援施設が不十分だったから	14	2.5	7.5
8	住宅環境が厳しかったから(家が狭い、部屋がないなど)	12	2.2	6.4
9	生活環境や社会環境が良くなかったから	13	2.3	7.0
10	現在は理想の子どもの数に届いていないが、今後、子どもを持つ予定である	14	2.5	7.5
11	その他	21	3.8	11.2
	不明・無回答	370	66.4	
	N (%ベース)	557	100.0	187

問23 あなたは今後も高取町に住み続けたいと思いますか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	できればずっと住み続けたい	295	53.0	54.2
2	現在の住居は変わりたいが、引き続き高取町内に住み続けたい	16	2.9	2.9
3	一旦、高取町外に移り、いずれは戻ってきたい	20	3.6	3.7
4	高取町外に転出したい、または転出する予定	71	12.7	13.1
5	わからない	142	25.5	26.1
	不明・無回答	13	2.3	
	N (%ベース)	557	100.0	544

問24 高取町内に住み続けたいと思う理由について

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生まれた時から住んでいるから	128	41.2	42.5
2	親と同居しているから	41	13.2	13.6
3	知人や友達が多く住んでいるから	91	29.3	30.2
4	家を新築(購入)したから	86	27.7	28.6
5	住民の人柄が良いから	59	19.0	19.6
6	通勤しやすいから	26	8.4	8.6
7	買い物など日常生活が便利だから	17	5.5	5.6
8	身近な自然にも触れることができ住環境が良いから	107	34.4	35.5
9	歴史的資源が豊富だから	31	10.0	10.3
10	防災への対応がしっかりしているから	1	0.3	0.3
11	子育て環境が充実しているから	5	1.6	1.7
12	教育環境が充実しているから	3	1.0	1.0
13	福祉サービスが充実しているから	19	6.1	6.3
14	医療機関が充実しているから	9	2.9	3.0
15	行政サービスが充実しているから	6	1.9	2.0
16	町のイメージが良いから	17	5.5	5.6
17	高齢なので移転したくないから	98	31.5	32.6
18	その他	14	4.5	4.7
	不明・無回答	10	3.2	
	N (%ベース)	311	100.0	301

問25 今後の転居のきっかけや見通し

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	進学に伴い転居する見通し	3	3.3	3.6
2	就職したら転居する見通し	22	24.2	26.5
3	転職になったら転居する見通し	8	8.8	9.6
4	結婚したら転居する見通し	21	23.1	25.3
5	子どもが生まれたら転居する見通し	2	2.2	2.4
6	子どもの成長に合わせて転居する見通し	5	5.5	6.0
7	条件が良い物件が見つければ転居する見通し	23	25.3	27.7
8	高齢の親と同居または介護のために転居する見通し	7	7.7	8.4
9	子どもが独立したら転居する見通し	7	7.7	8.4
10	その他	16	17.6	19.3
	不明・無回答	8	8.8	
	N (%ベース)	91	100.0	83

問26 高取町外に転居したいと思う理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	将来的に自分が生まれた場所(高取町外)に帰るから	6	6.6	6.7
2	町内にはあまり親しい人がいないから	9	9.9	10.0
3	仕事をする場所から遠いから	32	35.2	35.6
4	交通の便が悪いから	51	56.0	56.7
5	買い物など日常生活が不便だから	56	61.5	62.2
6	もっと都会に住みたいから	13	14.3	14.4
7	もっと住環境がよいところに住みたいから	33	36.3	36.7
8	もっと自然環境がよいところに住みたいから	5	5.5	5.6
9	道路や下水道、公園など都市基盤整備が不十分だから	17	18.7	18.9
10	子育て環境が不十分だから	10	11.0	11.1
11	教育環境が不十分だから	9	9.9	10.0
12	福祉サービスが不十分だから	15	16.5	16.7
13	医療機関が不十分だから	31	34.1	34.4
14	行政サービスに不満があるから	13	14.3	14.4
15	いい不動産物件がないから	7	7.7	7.8
16	町に特徴がないから	14	15.4	15.6
17	その他	7	7.7	7.8
	不明・無回答	1	1.1	
	N (%ベース)	91	100.0	90

問27 あなたは、仕事と私生活の調和を実現できていると思いますか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	実現できている	33	12.3	13.0
2	おおむね実現できている	139	51.7	54.7
3	やろうしているがあまり実現できていない	51	19.0	20.1
4	まったく実現できていない	18	6.7	7.1
5	考えたこともない	13	4.8	5.1
	不明・無回答	15	5.6	
	N (%ベース)	269	100.0	254

問28 仕事と私生活の調和ができていない理由

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	仕事が忙しく、自分の私生活を理由に帰宅するのは容易でない	44	63.8	67.7
2	自分の私生活より仕事の方が大切だと思うから	3	4.3	4.6
3	仕事以外にやるべき(やりたい)ことがないから	4	5.8	6.2
4	その他	14	20.3	21.5
	不明・無回答	4	5.8	
	N (%ベース)	69	100.0	65

問29 仕事と私生活の調和を実現するために、企業や事業者等にどんなことに取り組んで1(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	長時間労働の抑制・改善	31	44.9	45.6
2	年次有給休暇の取得促進	27	39.1	39.7
3	労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応	17	24.6	25.0
4	パートタイム労働者の処遇改善の推進	8	11.6	11.8
5	テレワーク(在宅勤務)の普及促進	4	5.8	5.9
6	育児休業制度の充実	3	4.3	4.4
7	子どもの看護休暇などの定着	8	11.6	11.8
8	学校行事などに参加しやすい時間単位休暇制度などの導入	6	8.7	8.8
9	どのような働き方をしても公正に処遇される人事制度の確立	15	21.7	22.1
10	その他	8	11.6	11.8
11	特になし	9	13.0	13.2
	不明・無回答	1	1.4	
	N (%ベース)	69	100.0	68

問30 本町で人口減少、少子高齢化が進行していくことで生じる影響について、あなたが考え(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国や地方自治体が税収減となり、財源不足によって行政サービスが低下する	275	49.4	50.9
2	年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増	371	66.6	68.7
3	まちづくりや地域福祉などを支える担い手の不足	186	33.4	34.4
4	過疎化の進行による土地の荒廃	235	42.2	43.5
5	労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	92	16.5	17.0
6	人口減少による消費減などで、商店などのにぎわいが喪失	131	23.5	24.3
7	地域の伝統や文化の喪失	59	10.6	10.9
8	スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	38	6.8	7.0
9	それほど影響はない(不安に感じない)	14	2.5	2.6
10	その他	13	2.3	2.4
	不明・無回答	17	3.1	
	N (%ベース)	557	100.0	540

問31 このような社会状況の変化を踏まえ、今後の本町の自治体運営は、どのような方針に(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生活の質的な充実を図る	195	35.0	37.9
2	経済の拡大・成長を図る	116	20.8	22.5
3	身の丈にあった自治体運営を行い、現行生活の維持を図る	179	32.1	34.8
4	その他	25	4.5	4.9
	不明・無回答	42	7.5	
	N (%ベース)	557	100.0	515

問32 今後10年先の高取町を考えたときに、特に重要な施策分野は何だと思えますか (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	人権・教育	85	15.3	15.9
2	文化・スポーツ	35	6.3	6.6
3	保健・福祉	363	65.2	68.0
4	環境	169	30.3	31.6
5	防災	140	25.1	26.2
6	社会基盤	218	39.1	40.8
7	農林業	64	11.5	12.0
8	商工業	71	12.7	13.3
9	観光・賑わい	97	17.4	18.2
10	市民活動	64	11.5	12.0
11	行政	125	22.4	23.4
	不明・無回答	23	4.1	
	N (%ベース)	557	100.0	534

問34 あなたは、幸せだと感じますか

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	幸福度0	28	5.0	5.3
2	幸福度1	13	2.3	2.4
3	幸福度2	46	8.3	8.6
4	幸福度3	229	41.1	43.0
5	幸福度4	142	25.5	26.6
6	幸福度5	75	13.5	14.1
	不明・無回答	24	4.3	
	N (%ベース)	557	100.0	533